



いま、煌めく瞬間を作りたい。
NIIGATAブライダル活性化プロジェクト

事業報告書

2021年2月吉日
NIIGATAブライダル活性化プロジェクト実行委員会





1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2 全体概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

3 プレ花嫁の声を届けたい ～それぞれのカタチを目指して～
「結婚式についてのWEBアンケート報告書」・・・・・・・・・・6

- ・ 調査の全体概要
- ・ 回答者の属性
- ・ アンケートの調査項目
- ・ 調査結果の詳細
- ・ 調査結果から読み取れること

4 卒花嫁から学ぶ ～コロナ禍での私たちのカタチ～
「結婚式実施レポート&読者アンケート」・・・・・・・・・・31

- ・ 調査の全体概要
- ・ 回答者の属性
- ・ 調査結果の詳細
- ・ 調査結果から読み取れること

5 おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48



～いま、煌めく瞬間を作りたい～

NIIGATAブライダル活性化プロジェクト

私たち“NIIGATAブライダル活性化プロジェクト実行委員会”は
コロナ禍において、式場やブライダル関連業の皆様を、
応援・サポートしたいと考え立ち上がりました

本誌は、カップルの考え・迷い・希望・意見など
『今・現在』のリアルな声を集約しまとめた市場調査レポートと、
2020年10月～2021年2月の間に取り組んだ事業報告書です。

コロナ禍の結婚式・披露宴実施に向け、皆様が日ごろより試行錯誤し、
様々なお取組みをされている中で、参考情報となれば、
お手伝いが出来ればと思い実施しました。

人生の大きな節目である結婚式・披露宴において、
自粛や三密回避のため、多くのカップルが悩むと同時に、
式場様をはじめ、美容、衣装、花屋、菓子店など
関わる全ての方々に大きな打撃が及んでいます。

新たな『結婚式の在り方・価値観』を考える“ヒント”が見つければと存じます。

どんな状況下でも、“煌めく瞬間”をお二人に、家族に、関わる全ての方に贈りたい。
私たちの取組みが少しでもお役に立てれば幸いです。



NIIGATAブライダル活性化プロジェクト実行委員会
調査担当：グローバルマーケティング株式会社
協力：Wedding table新潟

実行委員会の3つの取組み

- ①WEB市場調査(コロナ禍における結婚式について)
- ②コロナ禍における結婚式レポート&読者アンケート
- ③ブライダル関係者と連携した映像放映

①WEB市場調査(コロナ禍における結婚式について)

目 的：カップルが今求めている結婚式・披露宴におけるコロナ対策や、感じている不安に対して意識調査を実施。その結果を、各式場様やブライダル関連業界の皆様へ共有することで、コロナ禍における更なる取組みに活かして頂くこと。

調査手法：WEBアンケート調査

実施期間：2020年12月16日(水)～2020年12月21日(月) 計6日間

回答数：188人

回答対象：女性／新潟県内在住

2020年1月から2022年12月末までの期間に入籍、結婚式、披露宴を行う予定があった方、もしくは今後行う予定がある方

【設問一部抜粋】

Q：結婚式・披露宴を今後どのように検討していますか。

Q：それを決定したのはどなたですか。

Q：実施しないことに決めた最も大きな理由は何ですか。

Q：実施予定としたその決め手は何ですか。

Q：結婚式・披露宴を行うことを想定して不安なことは何ですか。



②コロナ禍における結婚式レポート&読者アンケート

目的：実施検討中のカップルの不安を払拭し、参列予定者や周囲にも結婚式実施をポジティブに受け取ってもらうべく、コロナ禍において式場と一緒に工夫しながら結婚式・披露宴を行ったカップルを取材し、その情報をWEB記事にて発信。

【第1弾】【新潟カップルが実践】感染対策を取り入れた、今どきウエディングの楽しみ方

目的：結婚式についてのWEB掲載記事を見た読者が、記事を見る前と後でどのように結婚式・披露宴についてのイメージが変わったかを調査するため(WEBアンケート)。またその結果を踏まえ式場やブライダル関連業の皆様の、取組み発信方法の参考として頂くため。

掲載媒体：KomachiWedding／こまウエMAGAZINE

掲載期間：2021年1月4日(木)～掲載中(2021年2月15日時点)

閲覧数：約1,000PV

回答数：115人

回答対象：上記WEB記事を読んだ読者

利用広告：Instagramターゲティング広告

会場：La partir (ラ パルティール) 長岡市

挙式日：2020年11月

※記事内容全文は、本レポートに掲載しています。

【第2弾】感染対策バッチリ！コロナ禍の結婚式の楽しみ方

目的：上記主目的に同じ

掲載媒体：KomachiWedding／こまウエMAGAZINE

掲載期間：2021年2月4日(木)～掲載中(2021年2月15日時点)

会場：新潟グランドホテル 新潟市

挙式日：2020年11月

写真：La partir (ラ パルティール) 長岡市

写真：新潟グランドホテル 新潟市



▶記事はQRコードからご確認いただけます。 ※一定期間後、表示できなくなる可能性があります。
▶写真:こまウエ掲載記事より

③ブライダル関係者と連携した映像放映

目的：ブライダル業界の方々の強い応援メッセージをカップルに伝えるため、『NIIGATA wedding project』と連携し既存映像を編集し、通勤・通学を中心に利用するお客様へ発信。

放映媒体：J・ADビジョン(駅サイネージ)

放映箇所：新潟県内下記14駅／26画面

新潟駅(東口・西口・新幹線コンコース)、燕三条駅、長岡駅、越後湯沢駅、新発田駅、

白山駅、新津駅、柏崎駅、上越妙高駅、村上駅、東三条駅、六日町駅、吉田駅、内野駅

放映素材:1分30秒

放映期間：2021年1月28日(木)～2月27日(土)

閲覧数：各面最低2,250回／月以上



▲NIIGATA wedding project様YouTubeより

▶一部抜粋：放映風景

新潟駅：新幹線コンコース内



新潟駅：西口



内野駅



燕三条駅

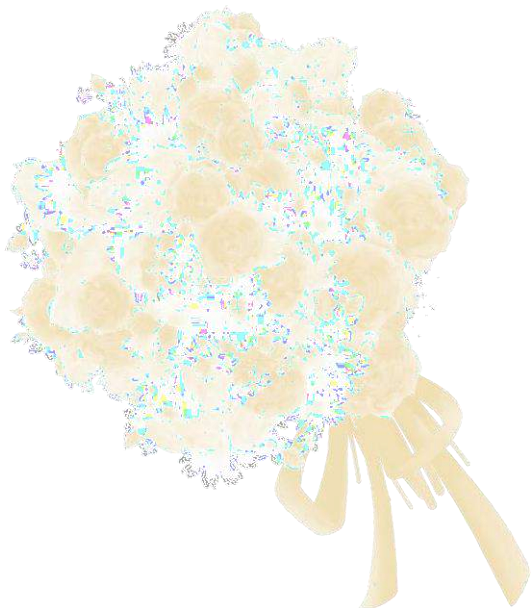




プレ花嫁の声を届けたい

結婚式についての WEBアンケート報告書

～それぞれのカタチを目指して～



調査の全体概要

アンケート方法・期間etc.



調査の全体概要

◆調査目的

カップルが今求めている結婚式・披露宴のコロナ対策や感じている不安に対して意識調査を行い、その結果を各式場様やブライダル関連業界の皆様へ共有することで、コロナ禍における更なる取組みに活かし、今後の企画考案・サービス向上に繋げて頂くため。

◆調査手法

WEBアンケート

◆アンケート実施期間

2020年12月16日（水）～2020年12月21日（月） 計6日間

◆サンプル数（回答数）

188人

◆設問数

全20問(属性に関する質問を除く)

◆回答対象者

女性／新潟県内在住、かつ2020年1月から2022年12月末までの期間に入籍、結婚式、披露宴を行う予定があった方、もしくは今後行う予定がある方。

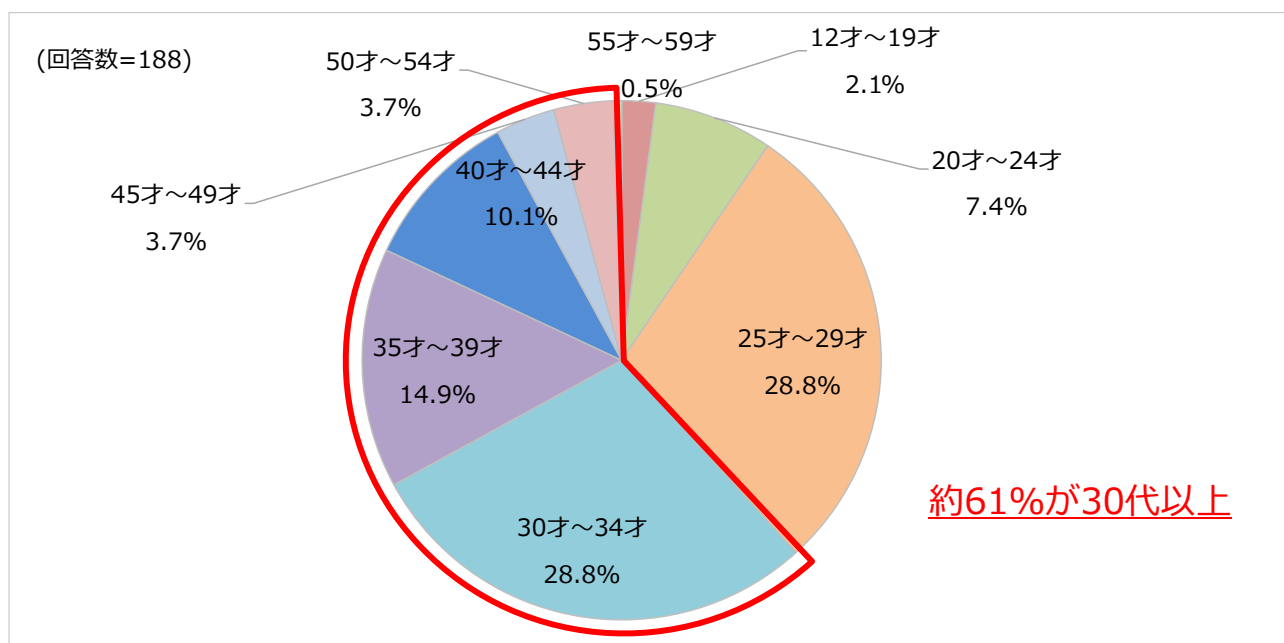


回答者の属性



回答者の年齢詳細

※回答者：女性／新潟県内在住で、
2020年1月から2022年12月末までの期間に入籍、結婚式、披露宴を行う予定が
あった方、もしくは今後行う予定がある方。



30代が全体の約44%、40代以上が17%以上となり、全体の約61%が30代以上でした。

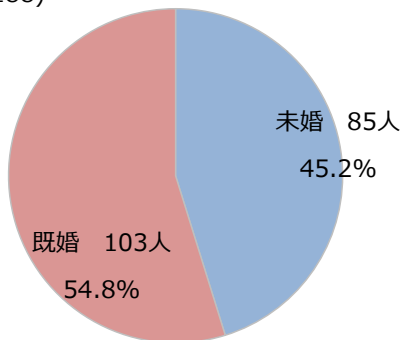
- ◆ 晩婚化と言われる中、本調査でもその傾向は明確に結果に表れた。
- ◆ 30代～40代の働く女性・子育て中の女性に合わせた打合せ時間の設定など、多様なライフスタイルに合わせた式の準備・実施が必要と読み取れる。



回答者の未既婚、子供の有無

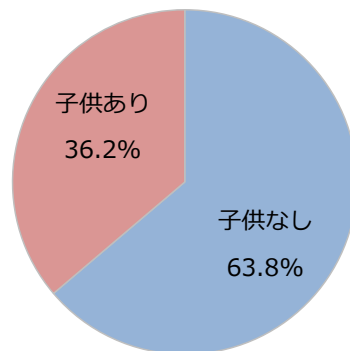
未既婚

(回答数=188)



子供の有無

(回答者=188)



既婚者が全体の54.8%、また子供がいる回答者が全体の36.2%に上りました。

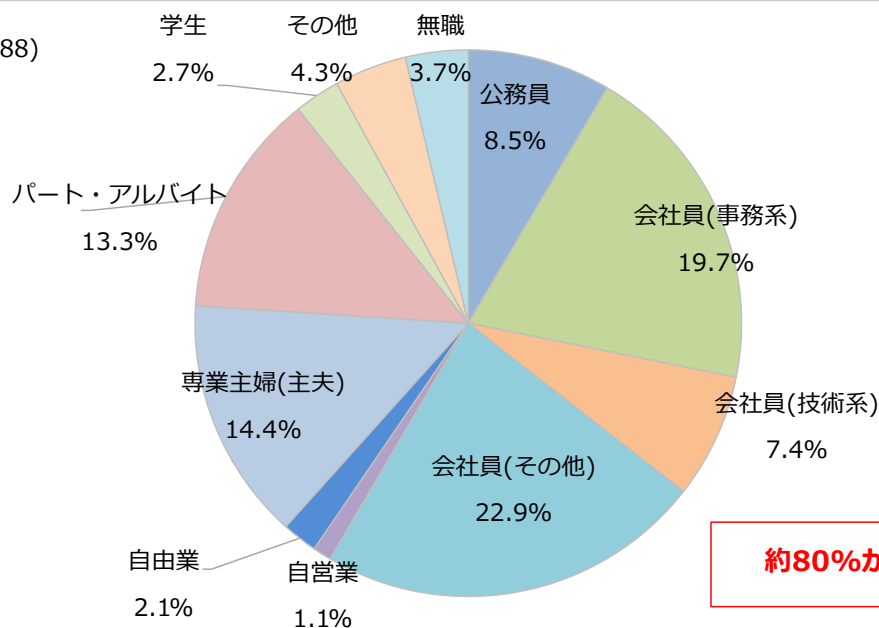
- ◆ 入籍後に結婚式・披露宴を実施できていない回答者もいるのではないかと推測される。
- ◆ 子供を持つ方も多いため、パパママ婚プランの他、子連れ打合せのニーズも読み取れる。



回答者の職業

※本調査ではより正確な実態把握のため、調査業・広告代理業の方を対象から省いてアンケートを実施しています。

(回答数=188)



約80%がカップル共働き

専業主婦が14.4%、無職が3.7% それ以外の81.9%は共働きと分かりました。(その他、学生含む)

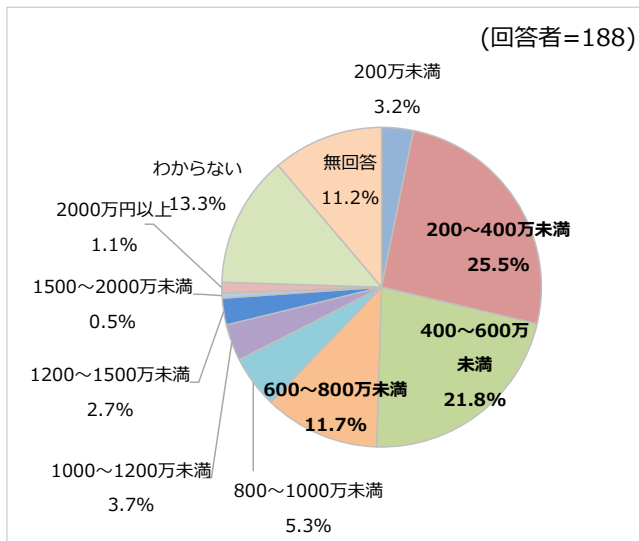
- ◆ 結婚式・披露宴の実施検討においては、打合せのオンライン化、LINE等での連絡ができるかなどの「準備簡易化」が検討の入口となり得る。



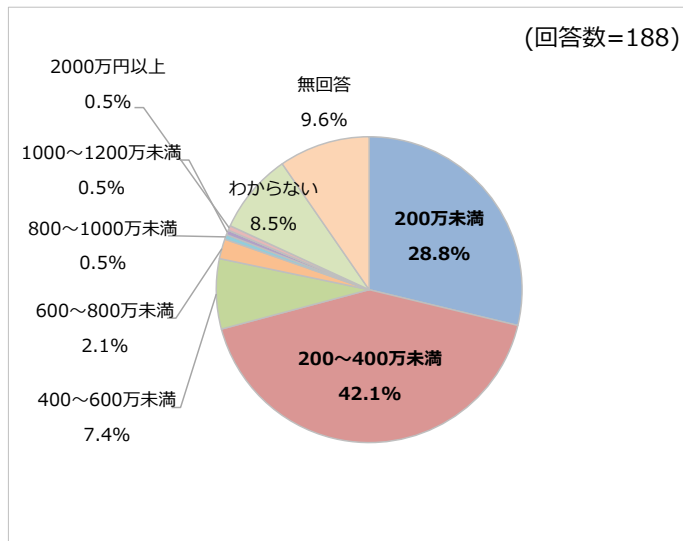
回答者の世帯年収、回答者の個人年収



世帯年収



個人年収



世帯収入は「～600万円未満」が約半数、個人年収は「200～400万円未満」が圧倒的に多く全体の42.1%となりました。

- ◆ コロナ禍におけるカップルの経済事情や考え方も踏まえ、より多様なプランにニーズがある可能性が推測される。



アンケートの質問項目





質問一覧



Q1	2020年1月から2022年12月末までのあなたの 結婚式・披露宴の検討・実施状況 を教えてください。
Q2	あなたの結婚式・披露宴は どのように執り行う予定 ですか。（いくつでも）
Q3	結婚式・披露宴の 実施月（検討月・予定月） を教えてください。
Q4	結婚式・披露宴を 挙げてよかった ですか。具体的な感想をご記入ください。
Q5	結婚式・披露宴の 実施場所（実施検討場所） を教えてください。
Q6	①結婚式・披露宴を今後 どのように検討 していますか、もしくは どのように執り行いましたか 。 ② 実施しないことに決めた最も大きな理由 は何ですか。
Q7	結婚式・披露宴の「 実施内容の変更を検討している/変更した 」方は、 具体的な変更内容を教えてください 。
Q8	前問を 決定したのはどなた ですか。
Q9	Q6で「今後実施する予定」と答えた方にお聞きします。 実施予定としたその決め手は何 ですか。
Q10	結婚式・披露宴を検討するにあたって、 ご自身の親はどのようなスタンス をお持ちでいらっしゃいますか（いらっしゃいましたか）。



Q11	結婚式・披露宴を行うことを想定して 不安なことは何 ですか。 もしくは 実施した際の不安だったことは何 ですか。
Q12	結婚式場の対応として求めていること （もしくは 実施時求めたこと ）は何ですか。
Q13	結婚式・披露宴を検討するにあたって、 式場や施設の方へ聞きたいこと、知りたいこと はありますか。
Q14	結婚式・披露宴を行わない一番の理由 を教えてください。
Q15	結婚式・披露宴の 準備を行う中で、面倒だと感じる内容は何 ですか。
Q16	前問の回答に対して、 どのようなサービスがあれば魅力的に感じますか 。 また、 式場見学に行きたい と思いますか。
Q17	結婚式・披露宴の実施を検討するにあたって、 どんな情報・サポートがあったら良い と思いますか（もしくは 思いましたか ）。
Q18	現在結婚式・披露宴を検討中の方にお伺いします。 結婚式・披露宴の実施を 検討するにあたって情報を得ることができている と思いますか。
Q19	結婚式・披露宴に関する情報は普段どこから得ていますか。あなたが 信頼する情報源を3つまで教えてください 。
Q20	結婚式・披露宴を挙げた方にお聞きします。 挙げた感想もしくはこれから挙げる方へのアドバイス 等あれば教えてください。

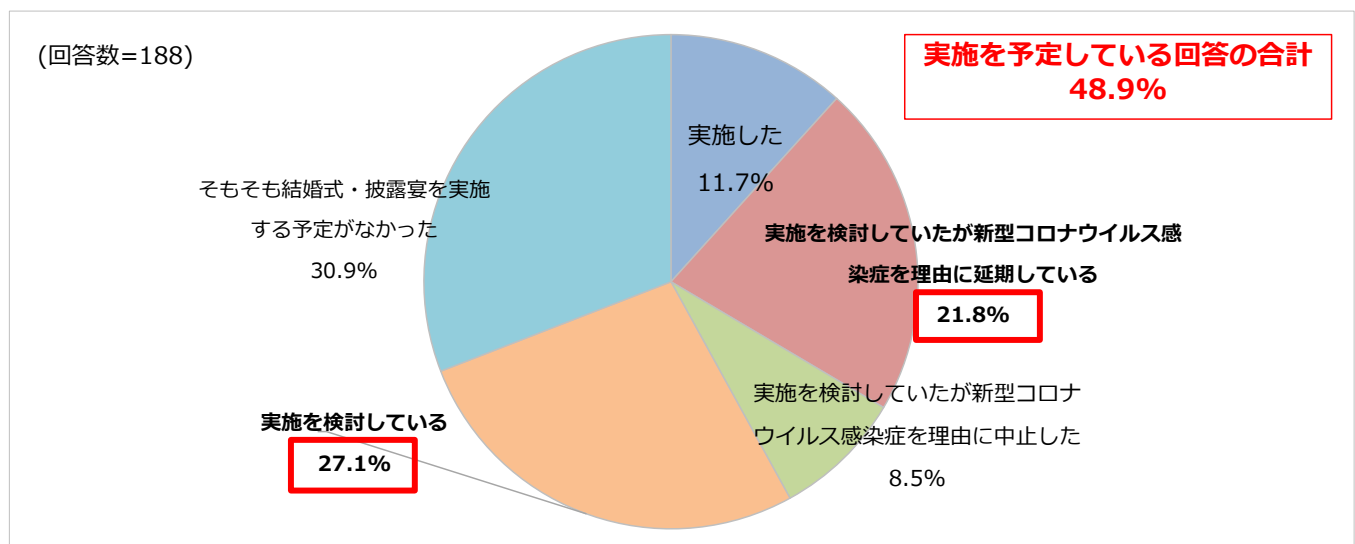


調査結果の詳細①

回答内容のまとめ

Q1~10 結婚式・披露宴の実施状況について

【Q1】 2020年1月から2022年12月末までの
あなたの結婚式・披露宴の検討・実施状況を教えてください。



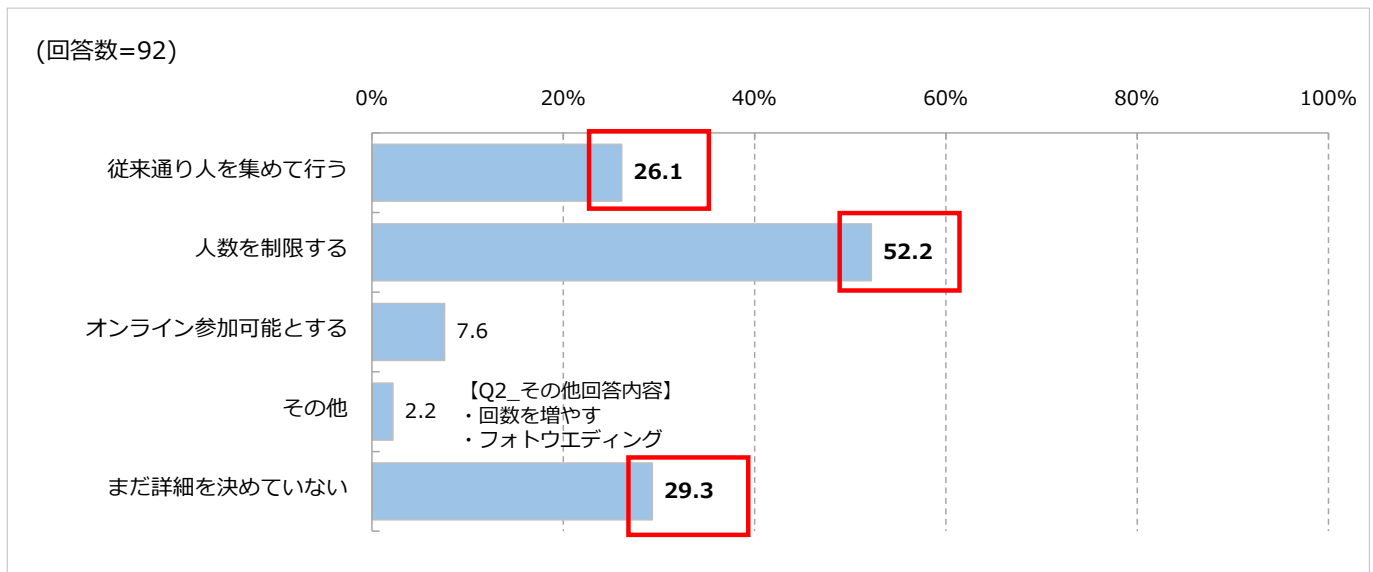
延期も含め、今後実施を予定している回答の合計は48.9%と約半数になりました。
また、「結婚式・披露宴を実施した」と回答した割合は11.7%となり、「中止した」8.5%を上回る結果となりました。

◆ 約半数の48.9%の方が状況によっては検討から実施へ繋げられる可能性があることが読み取れるため、検討中のカップルの今後のフォロー体制が以前にも増してより重要と思われる。



【Q2】あなたの結婚式・披露宴はどのように執り行う予定ですか。

※複数回答可能としています。

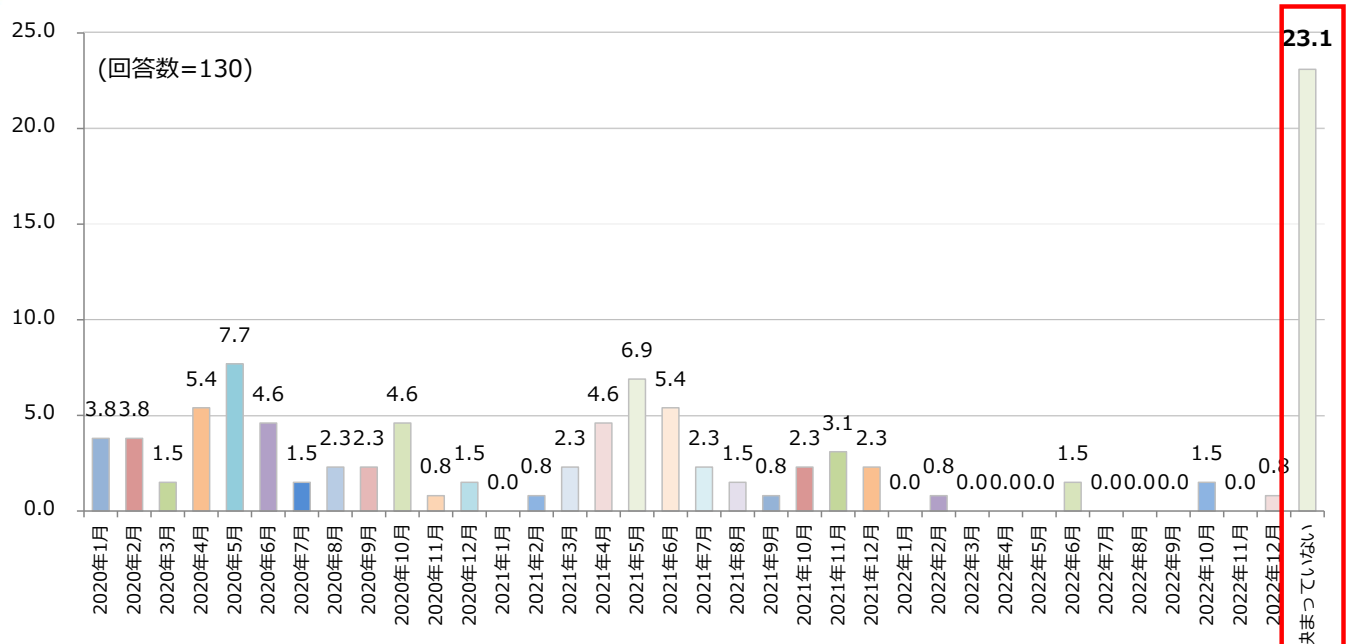


「人数を制限する」が52.2%で最も多く、次いで「まだ詳細を決めていない」が29.3%となりました。一方「従来通り人を集めて行う」も26.1%と高い割合でした。

- ◆ 中止することが前提ではなく、出来るやり方を模索していることが見受けられる。
- ◆ 「まだ詳細をまだ決めていない」層へ、実施事例を見せるなど内容を決定できる仕組みづくりやフォローを強化することで、実施検討数を上げることができると推測される。



【Q3】結婚式・披露宴の実施月（検討月・予定月）を教えてください。



予定はしていても具体的に時期が決まっていなかった方の回答が23.1%という結果となりました。

- ◆ 決まっていない＝決められない可能性もあると推測される。
- ◆ 実施決定に向けては、カップルごとの状況や不安を聞くなど、決められない理由を確認・払拭することが大切と思われる。



【Q4】結婚式・披露宴を挙げてよかったですか。具体的な感想をご記入ください。

※結婚式・披露宴を挙げた方のみへの質問、回答です。

「良い思い出になった」「家族、親族、友人にお披露目できた、感謝を伝えることができた」「晴れ姿を見せることができて良かった」等、全回答がポジティブなコメントでした。

- ◆ コロナ禍のため「結婚式を挙げて良かった」という発信をしにくい状況がある。
 - ◆ 式場からカップルや参列者に、‘SNSやクチコミをする際の注意事項’のアドバイスがあると安心して発信できるのではないかな。
- 例：時間差投稿をお願いします
- ー 結婚式の2週間後に参列者が健康だと確認できた後に投稿するとカップルも安心。また幸せへの共感が集まりやすい。

感想一覧（全15回答）

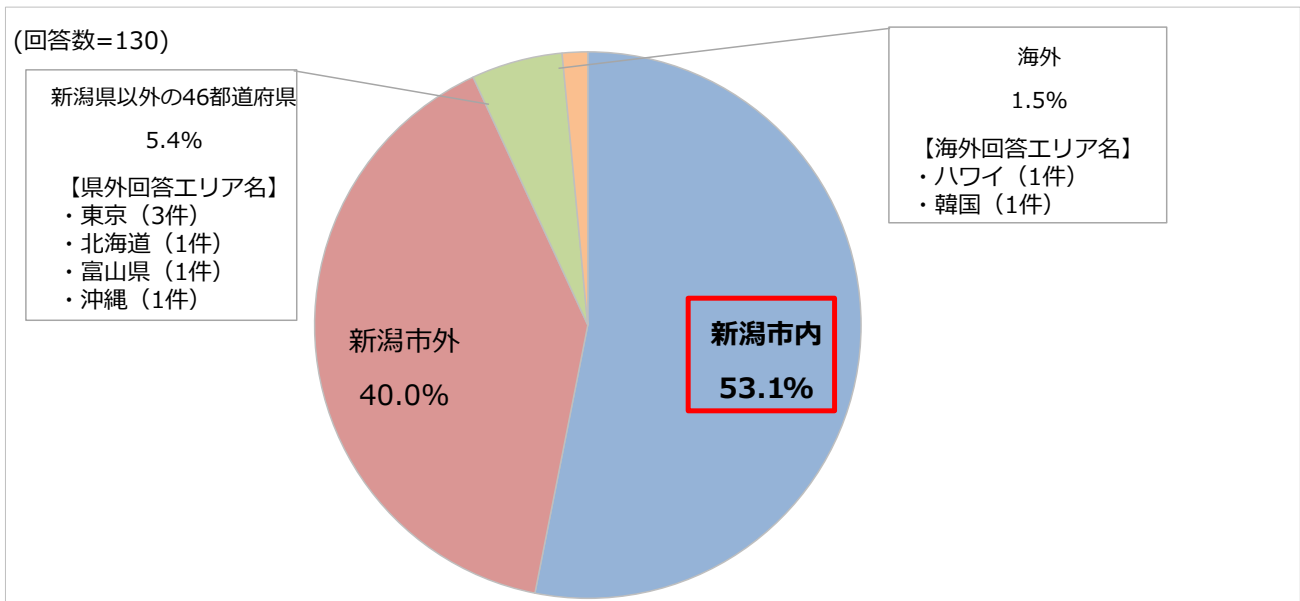
- ・両家の家族 親戚 友人等 顔交わせもでき来て下さった方々からも良い結婚式だったと喜んでいただけ自分達も良き思い出になり良かった。
- ・思い出になる。
- ・挙式のみですが、やらないよりはやってよかったと思います。
- ・私達の大事な人達が、一同に会することができて幸せな時間でした。
- ・まだ本格的に流行る前だったので挙げられて良かった。

- ・とてもよい式だったと言ってもらえ楽しい思い出になったので挙げてよかった。
- ・コロナ禍での結婚式は不安だったがみんなにお披露目したいと準備してきたのであげてよかった。
- ・沢山の方々にお祝いをしていただきありがたみを感じた。
- ・こんな暗いニュースばかりだからこそ。
- ・コロナの影響で友人は招待できず親族だけの結婚式となってしまう、正直中止も考えていたが、少人数の分家族とたくさん話ができて感謝を伝える場にすることができたのでやってよかったと思います。
- ・挙げてよかった。妊活など病気の関係で急がなければならなかったので結婚式を予定通り実施できて良かった。
- ・両親を喜ばせることができたし、皆に祝福してもらえたこと。
- ・たくさんの方から祝福してもらえて良かった。和にこだわった演出ができたので楽しかった。
- ・多くの方に晴れ姿を披露できた。親が喜んでくれた。自分達にとっても思い出になった。
- ・家族に晴れ姿を見せてあげれたことがよかった。
- ・挙げて良かった。もう一度やりたいくらい。

※アンケートで入力いただいた文章のまま掲載しています。



【Q5】結婚式・披露宴の実施場所（実施検討場所）を教えてください。



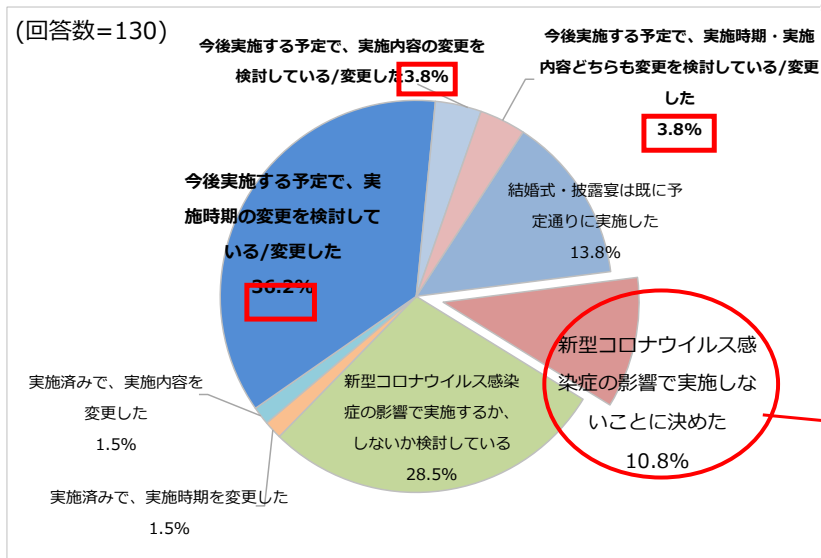
結婚式・披露宴の実施場所は、「新潟市内」を検討している割合が53.1%と過半数以上である一方、コロナ禍の結婚式・披露宴に対する質問でも海外の回答が2件ありました。

- ◆ 居住地として新潟市内が多い可能性も含め、90%以上が新潟県内で実施を検討している。
- ◆ 海外実施はコロナ禍前からの決定・希望で変更に至っていない段階と推測できる。



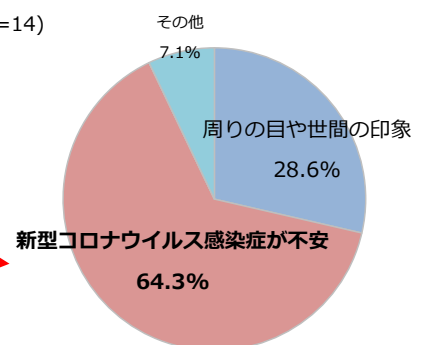
【Q6-①】結婚式・披露宴を今後どのように検討していますか。

(もしくはどのように執り行いましたか)。



【Q6-②】実施しないことに決めた最も大きな理由は何ですか。

(回答数=14)



「実施を前提に実施時期を検討している」が36.2%と実施予定の方が最も多く、検討中を含め今後「実施予定」とした回答の合計は43.8%に上りました。
また「実施しないことを決めた」理由としては、「感染症が不安」64.3%(9人)が大多数でした。

- ◆ Q2同様中止が前提ではなく、多くの方が実施に向け調整していることが見受けられる。
- ◆ 感染症への不安を減らすため、実施したカップルの感染症対策の紹介があると安心に繋がる。
▶ P31からの「結婚式実施レポート」アンケート結果を参照。



【Q7】結婚式・披露宴の「実施内容の変更を検討している/変更した」方は、具体的な変更内容を教えてください。

変更内容

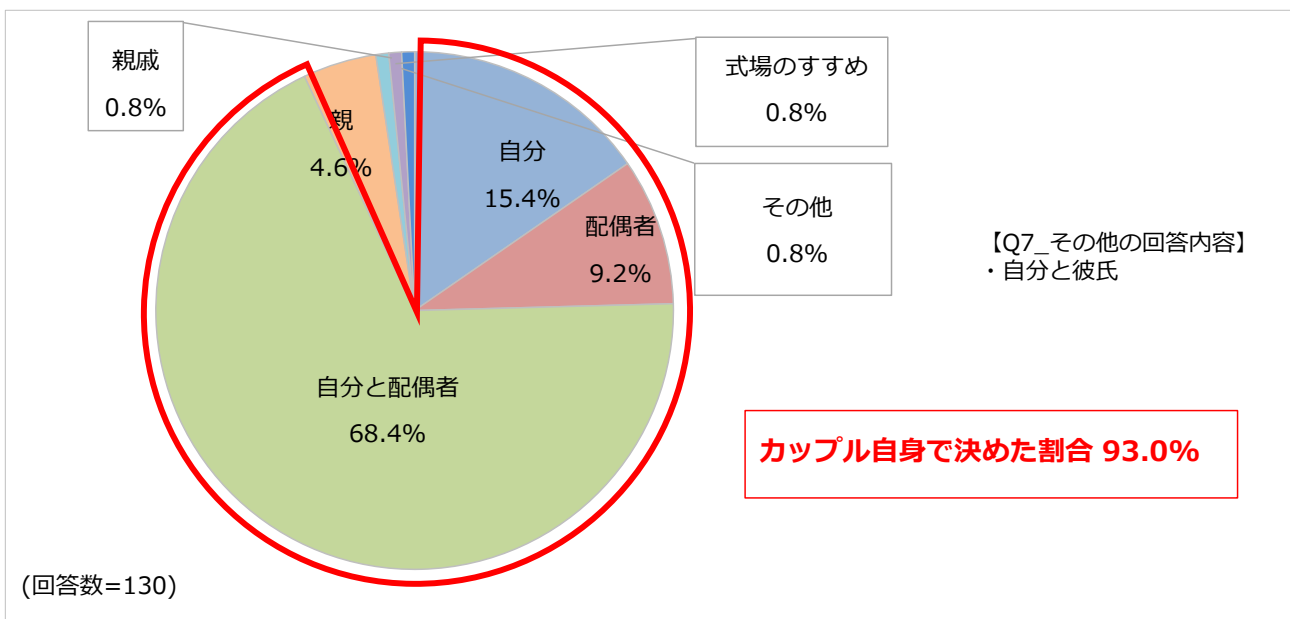
- ・友人は招待せず、親族のみで実施した。
- ・大人数を集めての披露宴を止めて家族婚に変更を検討している。
- ・当初より人数を制限する
- ・余興なし
- ・写真撮影のみ
- ・プラン変更
- ・人数や感染症対策の伴う結婚式の内容を検討中
- ・お色直し後の各テーブルへの挨拶をとりやめる

大きく「規模縮小」と「プラン変更」の2パターンの内容が見られます。

- ◆ 実際に内容を変更したカップルの変更内容を事例として見せるなど、具体的な変更についての内容・詳細の打ち出しが、検討中のカップルの実施決定材料となり得る。



【Q8】前問(式の実施に関する変更)を決定したのはどなたですか。

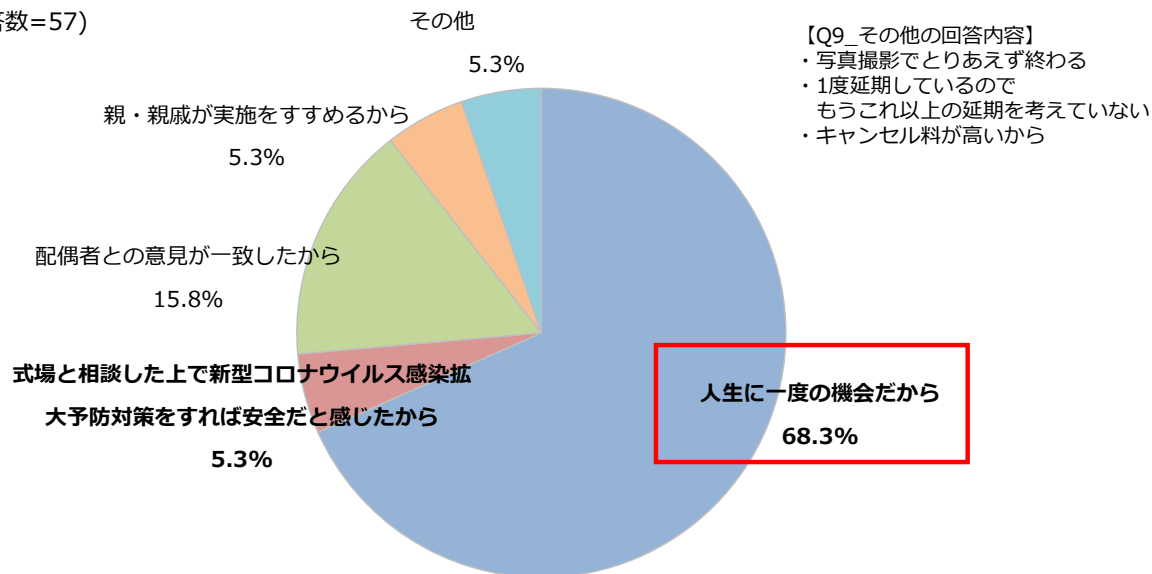


変更の決定は「自分と配偶者」が最も多く68.4%、また配偶者の決定・自分の決定を合わせるとカップルで決めた割合は93.0%と大多数となりました。

- ◆ コロナ禍という特殊な社会状況下でも、周囲の意見も踏まえつつ、最終的にはカップルが決定していることがうかがえる。
- ◆ 0.8%と僅かだが、式場の勧めで決定している例もある。

【Q9】 Q6で「今後実施する予定」と答えた方にお聞きします。
実施予定としたその決め手は何ですか。

(回答数=57)

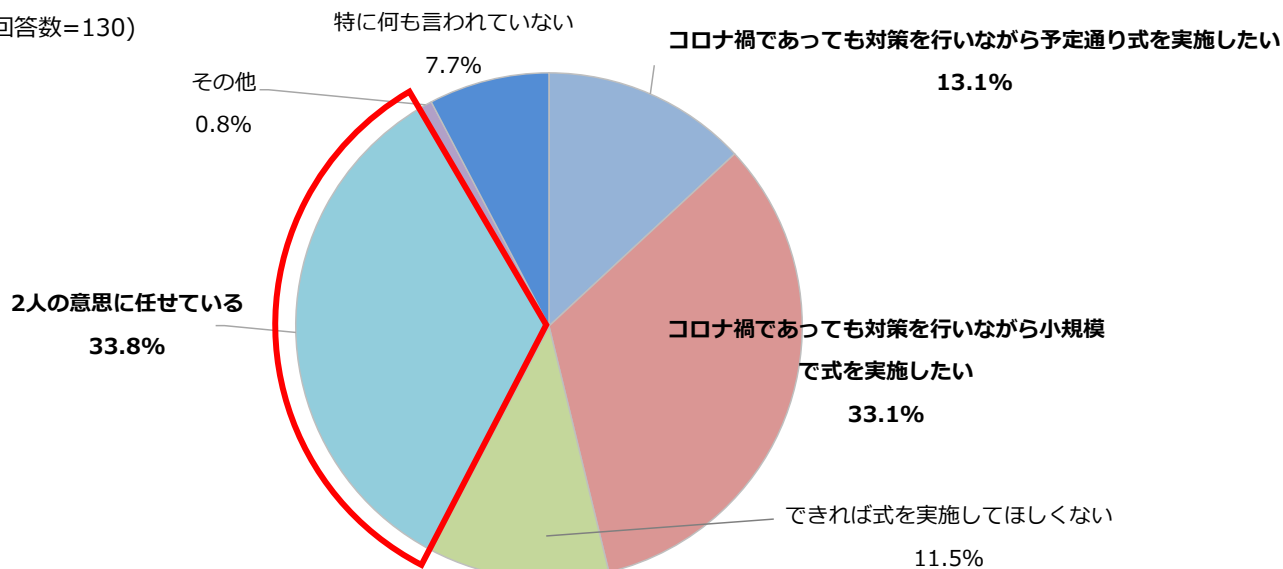


決め手として「人生に一度の機会だから」と答えた方が68.3%となりました。
少数ですが「式場に相談の上安全だと感じた」の回答も5.3%ありました。

- ◆ これまでの質問で「実施検討中」「決めていない」という回答も多かったが、本音は、「一生に一度の機会」を叶えたい・楽しみたいというプレ花嫁の気持ちが伺える。

【Q10】 結婚式・披露宴を検討するにあたって、ご自身の親はどのような
スタンスをお持ちでいらっしゃいますか／いらっしゃいましたか。

(回答数=130)



「2人の意思に任せている」が33.8%と最も高い回答となりました。また、「実施したい」回答の合計(小規模+予定通り)は46.2%となり、親の半数近くは実施したいスタンスと分かりました。一方「できれば実施してほしくない」の回答は11.5%に留まる結果となりました。

- ◆ カップルが実施希望の場合「2人の意思に任せている」+「実施したい」=80.0%の親が実施に賛成であることが読み取れる。

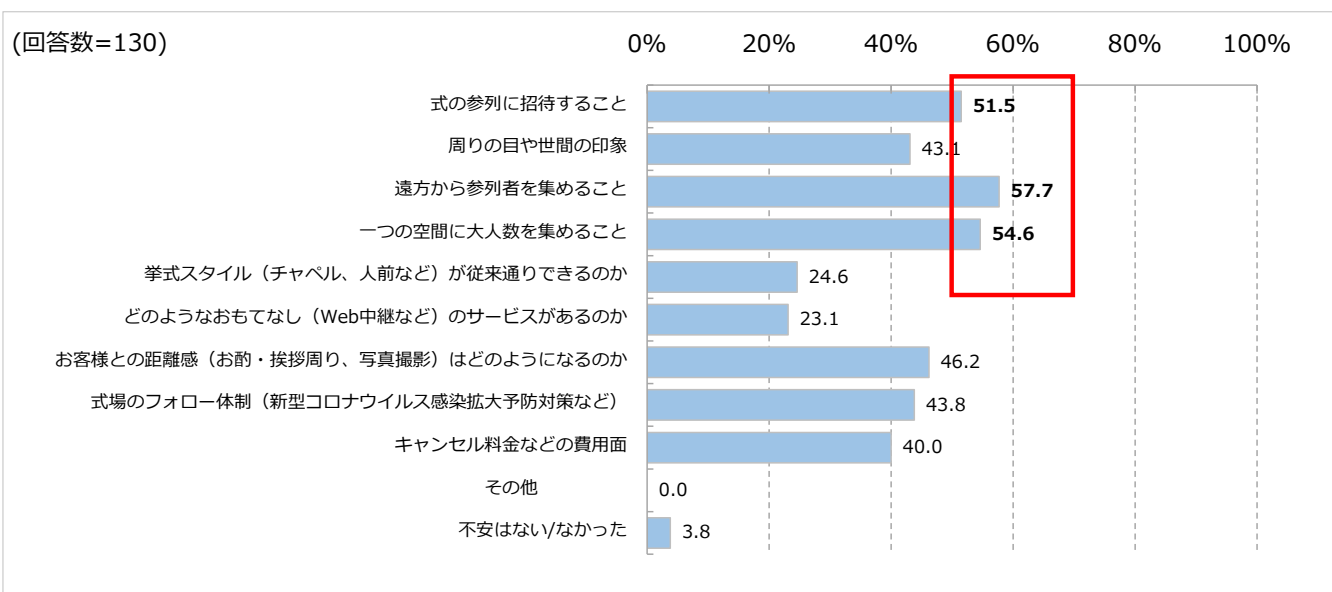
調査結果の詳細②

回答内容のまとめ

Q11~13 結婚式・披露宴に対する 不安や要望について



【Q11】 結婚式・披露宴を行うことを想定して不安なことは何ですか。
もしくは実施した際の不安だったことは何ですか。



参列者の安全面に関わる複数の項目で50%を超える結果となりました。

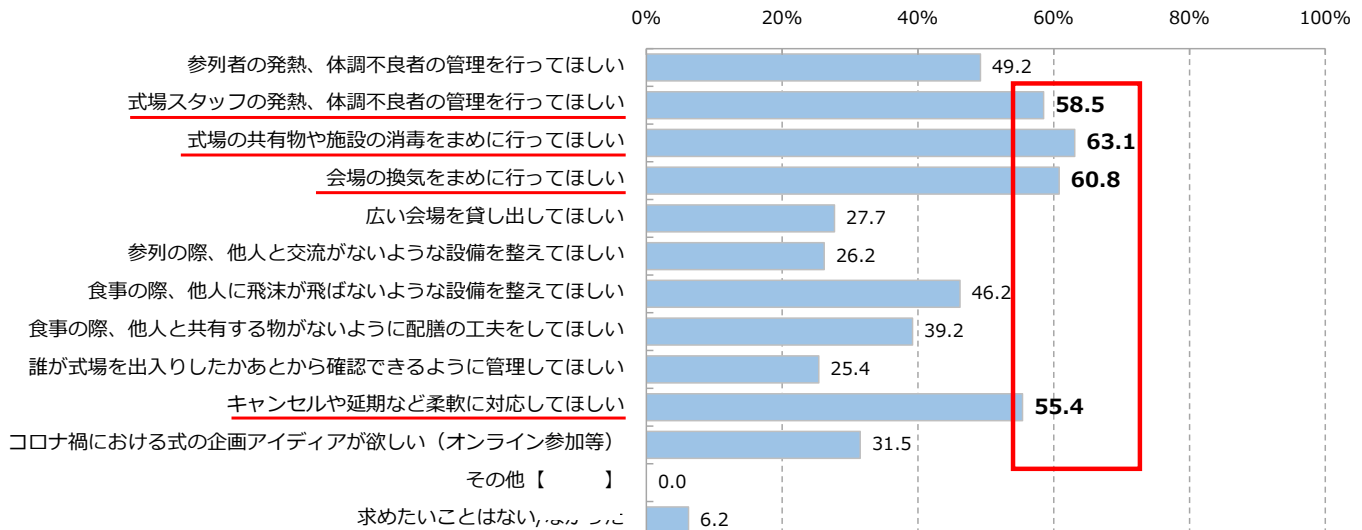
- ◆ 不安要素が先立ち、式の実施や詳細が決められないプレ花嫁の心理が読み取れる。
- ◆ コロナ禍の式の演出・内容を、実施事例などを含め詳細に伝えることで不安の一部が解消できると考えられる。



【Q12】結婚式場の対応として求めたいこと、もしくは実施時求めたことは何ですか。

※複数回答可能としています。

(回答数=130)



「式場の共有物や施設の消毒」「会場の換気」など感染拡大防止対策がそれぞれ約60%、「キャンセルや延期など柔軟な対応」も55.4%と高い結果となりました。

- ◆ カップルが求める感染症対策の取組みを、ホームページ等で分かりやすく情報発信することで、実施検討・式場見学などに繋がりをうけるのではないかな。
- ◆ キャンセル・延期規定の明確化と打ち出しは、実施検討者を増やす大きな要素になり得る。



【Q13】結婚式・披露宴を検討するにあたって、式場や施設の方へ聞きたい事、知りたいことはありますか。

※任意・自由回答です。

※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。

準備について

- ・どの程度自分たちで用意や作った方がいいかわからない。
- ・何も分からないので、全てをいちから教えてほしい。

感染対策について

- ・感染対策をどのようにしているのか
- ・過去に感染者が出ていないか
- ・円卓で飛沫が飛ばないようにするにはどうしたらいいか

延期・キャンセル・変更・料金について

- ・キャンセル料はどれだけかかるのか
- ・政府が自粛要請の時はキャンセル料はどれだけかかるか
- ・延期するとなったらいつまでできるか。またその費用はどうなるのか
- ・ギリギリまで予約を待てる期間を教えてください。
- ・小規模の場合の料金
- ・料金が分かりにくい
- ・人数変更による調整

プラン・コンテンツ等について

- ・感染対策を行なった上でどのような演出が可能なのか
- ・他に挙式したカップルはどのようにしたのか
- ・リモートで挙式となれば具体的にどのようなことが必要なのか。(PC環境に疎いため)
- ・どれくらいの規模でできるのか
- ・両家の参列人数が違ってもしそれを感じられないような席順が出来るかどうか。
- ・プランの詳細までパンフレットやホームページに掲載してほしい。
- ・海外でやることが不安なので、どれくらいサポートしてくれるのかを知りたい
- ・お手軽な軽食&式の多様なプラン
- ・ドレスのサイズどこまで用意されてるか？

「変更や延期等ルールについて」と「プラン・コンテンツ等について」を聞きたいと回答した方が多い結果となりました。

- ◆ 不明点や質問に対する情報発信の方法例として、式場ホームページでQ&A方式等による分かりやすい回答も効果的と考える。
- ◆ リーチしやすい式場ホームページに回答があることで、不明点・不安点の解消も早く、カップルが安心して実施検討を進められる要因となり得る。



調査結果の詳細③

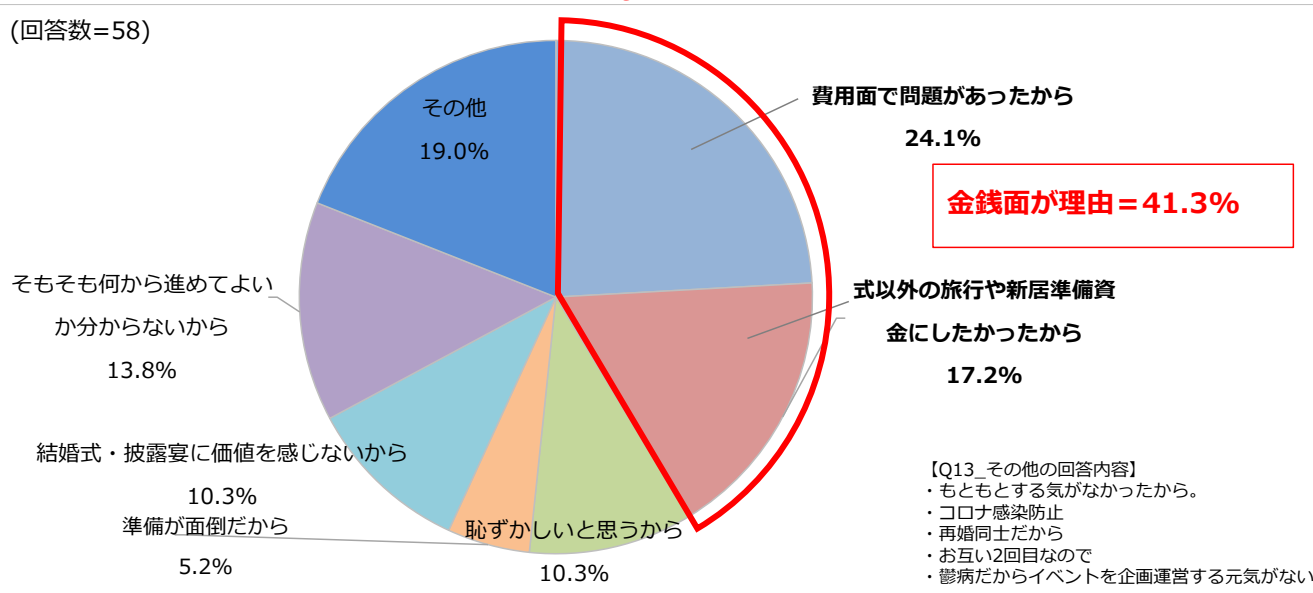
回答内容のまとめ

Q14~17 結婚式・披露宴そのものについて

【Q14】 結婚式・披露宴を行わない一番の理由を教えてください。

※Q1で「そもそも実施する予定がなかった」と回答した方へ質問しています。

(回答数=58)



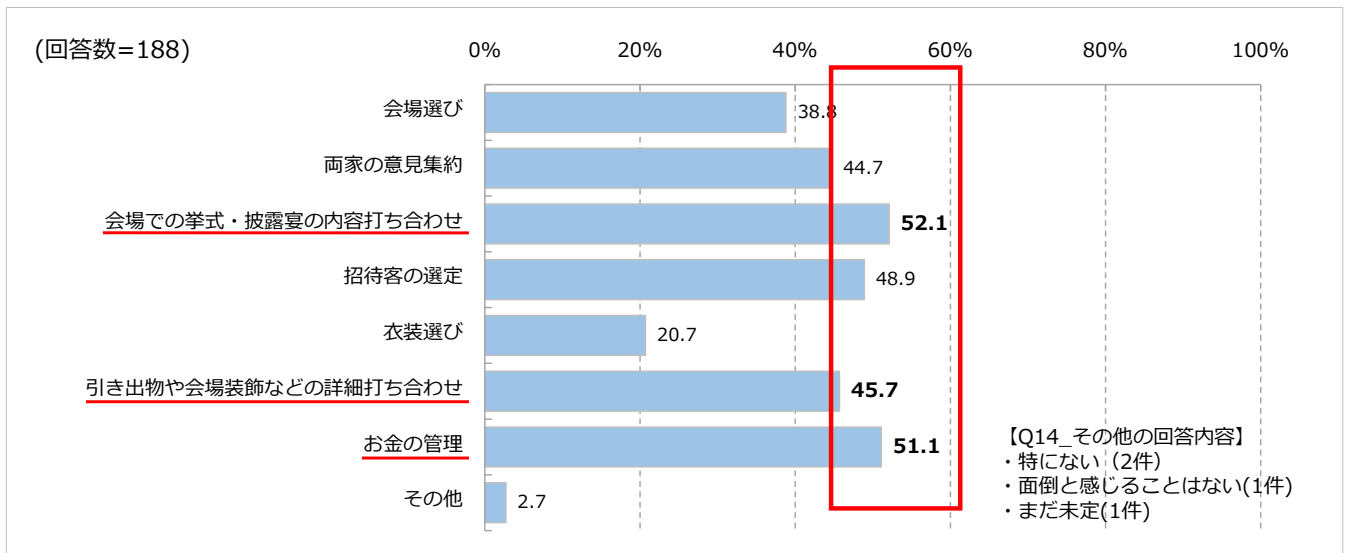
金銭面を理由に行わない方が合計41.3%と最も多く、次いで「何から進めてよいか分からない」「準備が面倒」など、準備面の回答が合計19.0%となりました。

- ◆ 低資金でも実施できるプラン、生活安定後実施できるパパママ婚(子供がいるカップルが多いため)など、特定のターゲット層に絞ったプランニーズも読み取れる。
- ◆ 「初めて検討する方へ」などのコンテンツをホームページに設けるなど、何から進めてよいか分からない・準備が面倒と感じるカップルへの情報提供も重要と考えられる。



【Q15】結婚式・披露宴の準備を行う中で、面倒だと感じる内容は何ですか。実施していない方は面倒だと思う内容を想像してお答えください。

※全員が回答しています。※複数回答可能としています。



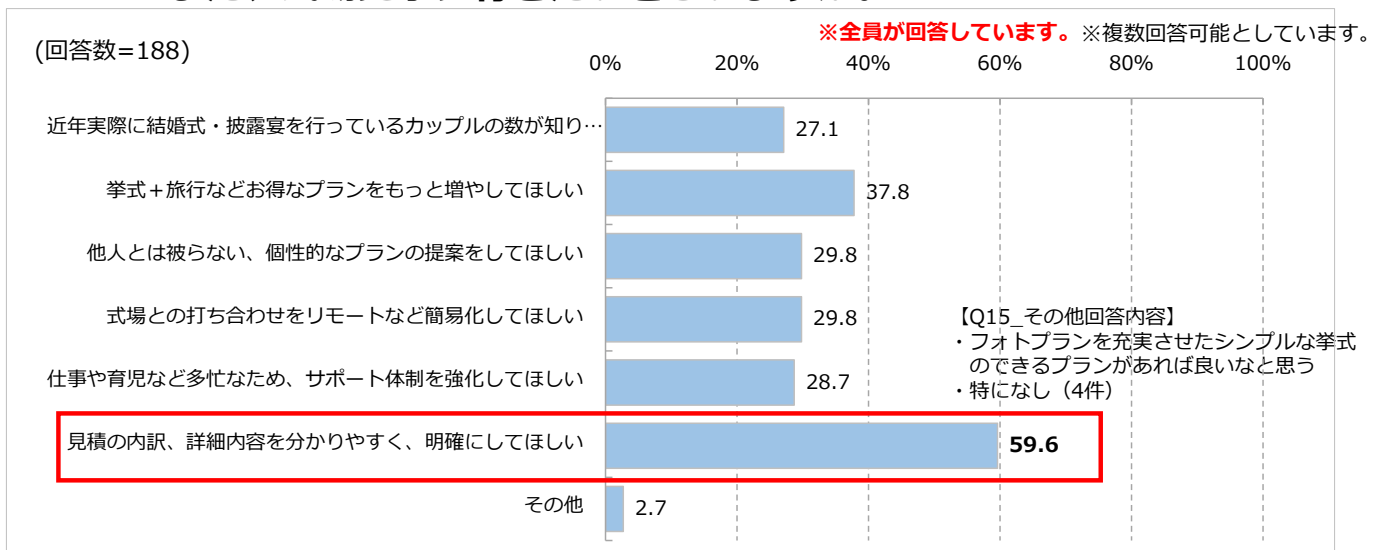
打合せ等、準備面の回答が50%程度と多い他、「お金の管理」も50%以上となりました。

- ◆ 「打合せ内容の明確化・円滑化」に取組み打ち出すことで、面倒さの払拭に繋がられる。
- ◆ お金の管理に対する不安を軽減するため、費用内訳・支払い・管理についての丁寧な説明や明瞭化も大切。



【Q16】結婚式・披露宴の準備で面倒だと感じることに對して、どのようなサービスがあれば魅力的に感じますか、また、式場見学に行きたいと思いませんか。

※全員が回答しています。※複数回答可能としています。



求めるサービスは「見積の内訳、詳細の明確化」が59.6%で圧倒的に高い結果となりました。「多様なプラン」「多忙による打合せ簡易化・サポート体制強化」も高い傾向が読み取れます。

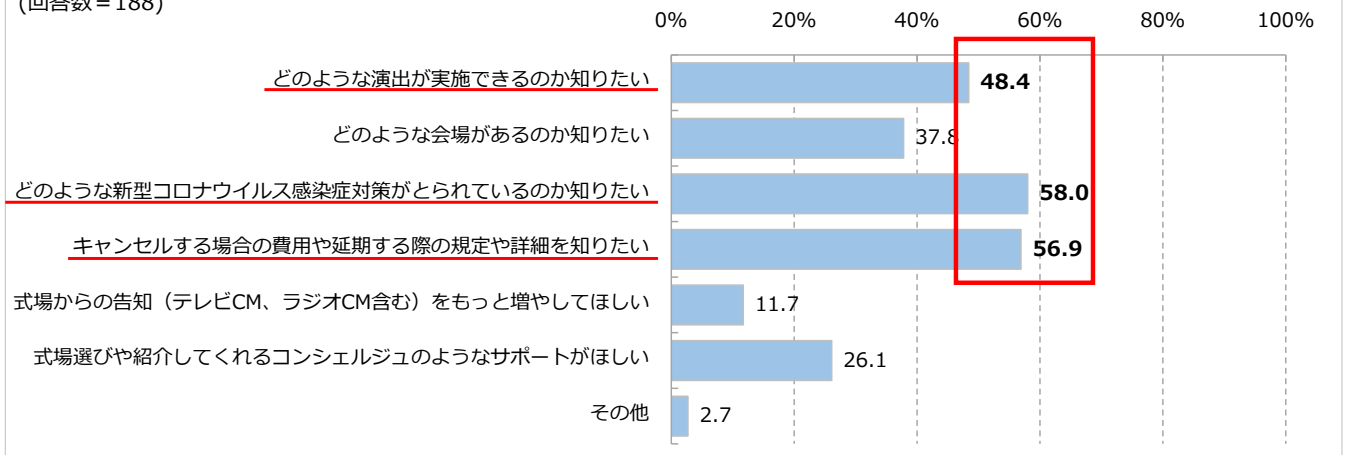
- ◆ 費用面が更に明確になると、安心して式場見学を検討できるのではないかと読み取れる。
- ◆ 共働きや子供がいるカップルも考慮した準備の簡易化・プランの多様化ニーズがある。



【Q17】 結婚式・披露宴の実施を検討するにあたって、どんな情報・サポートがあったら良いと思いますか、もしくは思いましたか。

※全員が回答しています。※複数回答可能としています。

(回答数 = 188)



【Q16_その他の回答内容】

- ・実際にいった人たちの感想を知りたいです
- ・実際の内容と費用の公開
- ・これまで実施した人たちの感想を教えてください
- ・もう少しプランナーさんと交流があればよかった

「感染症対策が知りたい」が58.0%と最も多く、次いで「キャンセル費用や延期規定の詳細が知りたい」56.9%、「どのような演出ができるか知りたい」48.4%という結果となりました。

- ◆ 詳細な感染症対策やキャンセル費用等、式そのものの以外の情報も検討を深める理由となる。
- ◆ 新しい生活様式に沿った演出の打ち出しも、式への興味関心を深めるきっかけとなり得る。



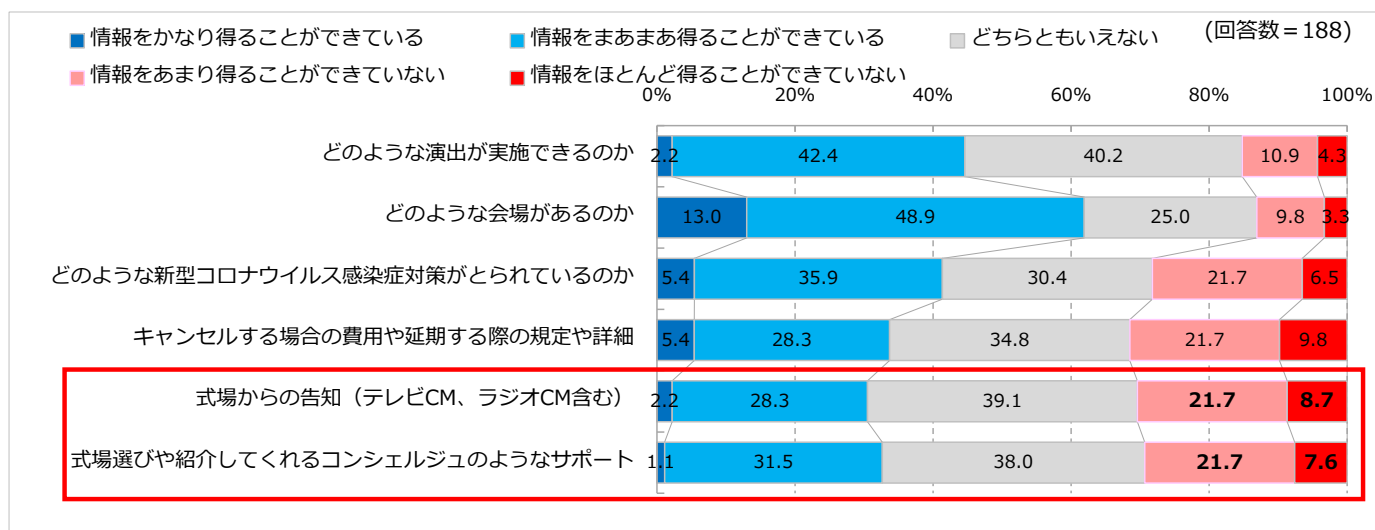
調査結果の詳細④

回答内容のまとめ

Q18~19 結婚式・披露宴の情報収集について



【Q18】 現在結婚式・披露宴を検討中の方にお伺いします。
結婚式・披露宴の実施を検討するにあたって、下記の項目の情報を
得ることができていると思いますか。

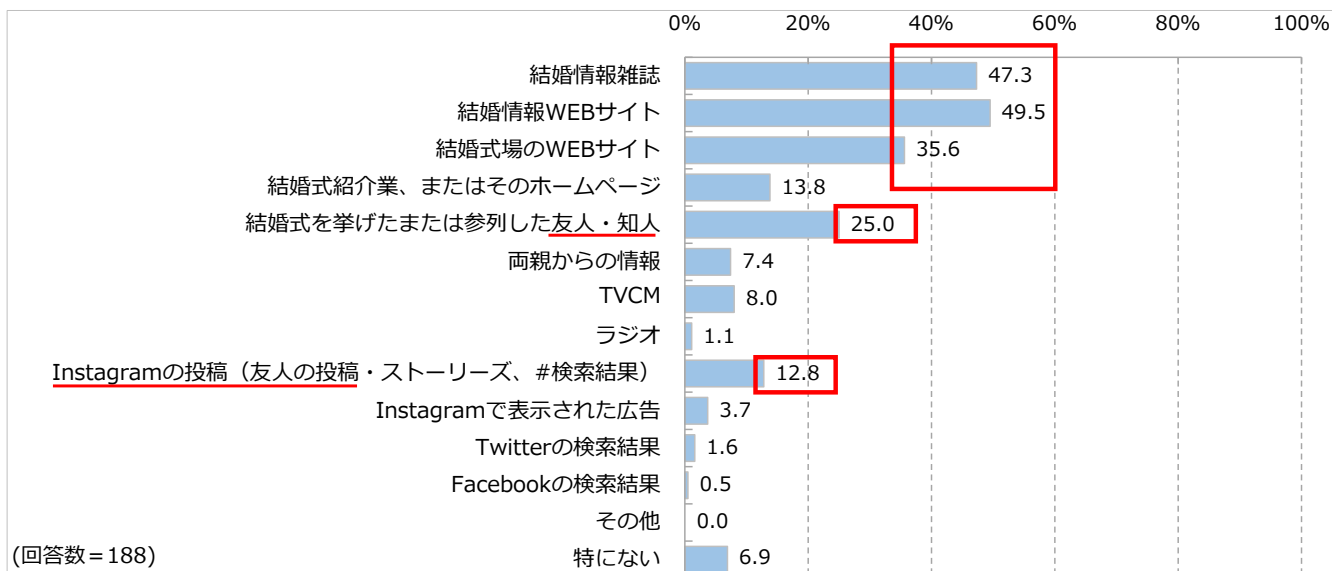


「キャンセル費用・延期規定や詳細」とほぼ同率で「式場からの告知」「コンシェルジュのようなサポート」の情報が得られていない、と回答しています。

- ◆ 会場としての情報だけではなく、式場それぞれの強み・特徴など差別化となるポイントの告知、またそのポイントをコンシェルジュ等外部サポートを活用し発信するなど、よりカップルの式場選びや検討に繋がりやすい情報配信が必要と思われる。



【Q19】 結婚式・披露宴に関する情報は普段どこから得ていますか。
あなたが信頼する情報源を3つまで教えてください。



「結婚情報WEBサイト」が最も多く49.5%、次いで「結婚情報誌」47.3%となりました。SNSの中では「Instagramの投稿（友人の投稿・ストーリー、#検索結果）」が12.8%と最も信頼されています。

- ◆ 式場ホームページの他、「結婚情報WEBサイト・雑誌」の情報信頼度が高いことが分かる。
- ◆ 実施・参列した友人やInstagram投稿など、クチコミの信頼度は高いことが読み取れる。



調査結果の詳細⑤

回答内容のまとめ

Q20 卒花嫁からのメッセージ

【Q20】結婚式・披露宴を挙げた方にお聞きします。挙げた感想、もしくはこれから挙げる方へのアドバイス等あれば教えてください。

※有効回答14件

結婚式を挙げないというのが増えてはいるけれど **素敵な時間を過ごせて、挙げて本当に良かったと思いました。**

例年のような盛大な感じではありませんが、**しっとりとした感じの式で両親にとっても逆に良かったと思ってます。**

今はしばらく**待った方がいい**

いろんなランクがあって**悩む**

今のご時世での式は、今までと違い難しいかもしれませんが。
ただ大事な人達を呼んで幸せな時間を過ごせる式は**とても良い思い出になります。**

徹底した感染対策を行った上で、**招待客の方が安心してきてもらうことが大事**

※任意・自由回答です。
※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。



いろいろな意見もあるし自分の思い描いていた結婚式ができず悔しい思いをすることもあるかもしれませんが、でも**家族に感謝を伝える場としてはこれ以上ないイベントになると思う**ので投げやりにならず素敵な結婚式になるよう頑張ってください。



式場に求めるばかりでなくて、自分達の姿勢も大事。相手も人間なんだから、傲慢な態度ではうまくいかないし、疑問があるなら放置せずにプランナーや営業に確認すること。プランナーとの相性が悪いと思うなら変えてもらうのも大事。



コロナ禍でも**式場の方々が万全の体制で行ってくれたことに感謝している**。準備等で大変な部分はもちろんあるが、**迷っているなら挙げた方が後悔はない**と思う。



こんな暗いニュースばかりだからこそ、**こうゆう場を設けて少しでも楽しんでいただくことがとてもいい**と思いました。



面倒でも話し合って**納得の結婚式、披露宴を**。



家族だけの結婚式を開いたがコロナの感染リスクも最小限にとどめながら実施することができ、よかったと思う。ただコロナ禍だったので流行地から家族を招待するリスクや、お酒が入った際には声も大きくなるし密になる時間もあり、**食事の際にはやはりパーティーがあれば良かった**と感じた。自分たちの人生設計もあると思うのでパートナーや家族と相談しながら実施の方法や時期など検討してほしいと思う。



相談カウンターで相談したことで自分たちが希望する結婚式が挙げられそうな式場を紹介してもらい、予約やお断りの連絡もしてくださりととてもよかった。**雑誌でプランや値段を見るだけではわからないその式場の特徴等も教えてもらったのでとても参考になった**。



やりたい事があればプランナーさん**とことん相談する**といいと思います

これから挙げる方へのアドバイスは、15回答中13回答が肯定的な内容でした。

- ◆ 実際に結婚式・披露宴を挙げた方の大多数が「挙げてよかった」と感じている。
- ◆ カップルがどのように検討し実施を決めたか、実施してどう感じたかなど、経験者のリアルな感想を紹介することで、検討中のカップルの実施検討を促進できるのではないか。



調査の結果から 読み取れること

カップルのニーズ・考え、そこから考える式場様での取組み案





「多くの」プレ花嫁のニーズ・考えのまとめ

結婚式(または入籍・披露宴)を予定しているけど延期中。
いつ実施するかはまだ決めていない。

結婚式・披露宴について、
親も小規模でやりたいと
思っているし、
決定は任せてくれている。

決めていないというより、決められない。
感染症対策も不安だけど、結婚式の日取りを決めたら、
キャンセル・延期ってできるのか、不安。



今できる結婚式・披露宴の内容って具体的にどんな事？
オンライン参加も聞いたことあるけど、実際はどうやってやるの？
他のカップルがやった演出を詳しく見てみたい。

そもそも結婚式・披露宴は、打合せやお金の管理が面倒そう…。
共働きで忙しいので、打合せは短縮してオンラインとかでできな
いかな？簡易的にできれば日取りや詳細も検討できそう。

コロナ禍で結婚式を挙げた知り合いは「挙げてよかった！」と言っていたな。

そんな前向きな声や様子やイマドキの演出、仕方ないときのキャンセルルールとか、
たくさん情報として知ることができれば、前向きに式を検討してみたいな。

※アンケート結果から推測できる考えを、プレ花嫁の声に見立ててまとめています。アンケート記載の文章ではございません。ご了承ください。



プレ花嫁のニーズから検討できる、式場様における取組み例

- ◆ 結婚式・披露宴の実施検討を深めてもらうために
 - ・ 実施カップルの「挙げてよかった」声や具体的な感想の紹介
(カップル、参列者へのInstagram時間差投稿依頼) ※実施2週間後安全を確認して投稿
 - ・ 結婚式・披露宴を挙げた実績、事例のより詳細な打ち出し
- ◆ 詳細が決められないカップルのために
 - ・ コロナ禍での変更可能なプランの明確化と打ち出し
 - ・ オンライン参加(参列)など、具体的な演出と実際の様子の公開
- ◆ 晩婚化・共働き・子供がいるカップル、そしてコロナ禍のスムーズな実施検討のために
 - ・ 打合せ簡易化、オンライン化とその情報公開
 - ・ 準備～実施までの打合せ短縮化とその情報公開
- ◆ カップルの式検討における不安要素を払拭するために
 - ・ 式場と式当日の感染症対策詳細の紹介
 - ・ キャンセル、延期規定の更なる明確化と打ち出し



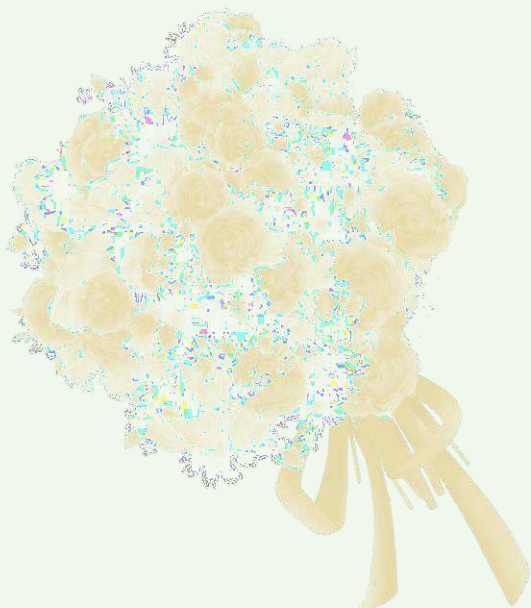
次ページからの調査では、実際のコロナ禍の結婚披露宴をレポートし、
その記事を読む前と後で、読者の結婚式・披露宴についての
考え方の変化を紹介しています。



卒花嫁から学ぶ

結婚式実施レポート & 読者アンケート

～コロナ禍での私たちのカタチ～



次ページからのアンケートは、下記記事を読んだ後に回答頂いています。

はアンケートで質問している内容です。



「オンライン招待状」で触れずに出欠確認

ふたりは感染対策に配慮した結婚式の準備をリサーチ。その中で、「オンライン招待状」のツールを発見。最初に制作した招待状を模ったデザインにしていたこともあり、またQから作るは大変でしたが、このサービスを利用して再び作ることにしました。

オンライン招待状は、コンテンツを作ったらメールやLINEを使ってゲストにデータを送付し、出欠の返事をもらいます。そして当日は、受付で事前に送ったQRコードを提示してもらって、従来の記名式で出席の受け渡しも非接触にすることが可能になりました。

zoom配信で参加できなかったゲストと交流

「オンライン招待状」は自分たちの希望の写真を添えるし、ダンブレードがたたくまで待つ必要もありません。ただ、QRコードが読み取れなかったゲストが数人いたため、前日に慌てて対応しました。でも、QRコードが印刷されたチケットを郵送する方法もあったようなので、ゲストに合わせてお品を選択するより快適になるかもしれません」と新郎。受付する人、それる人も安心できるように行われた招待状・受付のオンライン化は、式式を営むカップルにとって参考になるものばかりです。

zoom配信で参加できなかったゲストと交流

会場に来て感謝の気持ちを伝えたいと考えていたふたりにとって、大切なゲストの交流はとて大変なものでした。みんなが笑顔で参加できるようにと、オンラインウェルの導入を式場に相談。iPadを使って、2名のゲストがオンライン参加を選択しました。

会場に来て感謝の気持ちを伝えたいと考えていたふたりにとって、大切なゲストの交流はとて大変なものでした。みんなが笑顔で参加できるようにと、オンラインウェルの導入を式場に相談。iPadを使って、2名のゲストがオンライン参加を選択しました。

zoom配信で参加できなかったゲストと交流

オンライン配信は友人スピーチとゲームのシーンに限定。事前に太極の時間を伝えながら、事前にLINEでメッセージを送ること。事前に画面上で見えるように工夫しました。

新郎友人は地元・富山県からオンラインで参加。自費で買ったスピーチ機を会場で代送してもらい、その様子をリアルタイムで見ることができたそうです。「オンラインでつながることで楽してもらえているように感じました」と新郎。



対策を取りながら、ふたらしい結婚式を実現



ふたりの結婚式のテーマは、紀伊のさかかけとなったアーティスト「SEKAI NO OWARI」の世界観を再現すること。式場を白からライブの音楽空間に変える会場探し、入口から続くカーテンプロットの景色、星型の装飾、特注のケーキと、MV風の演出にこだわりました。



ケーキデザインは新婦が希望。セカイメンバーのイラストや空海ASを盛り、ヒットソング「ムーンライトステーション」を引用したCMをイメージしました。ちなみに、奥に書いているのは新婦新婦と愛犬。種別までこだわりが詰まっています。



ウエルカムボードは印刷会社に頼める新婦の義兄さんにおまかせして完成したもの。



一緒に参っていたアイロンビーズのウエルカムボードは、新婦が働く百貨店の利用客さんたちが手作りしてくれて感謝。新婦新婦はたくさんから愛されている様子が見えます。



希望通りのファンタジックな世界観を現実に再現したふたり。華美しさが伝わるカップルには、ぜひおめでとうございます。



「オンラインの企画をどうにかしたい」という思い。奥に書かれているのはふたりの名前。ゲストのみなさんの心配や不安をどれだけ軽減できるかが重要。彼らは言葉と協力しながらできる限りの対策を取ってきました。そんな中でこれだけこだわりの強い式ができました。コロナ禍だからと我慢する必要は一切ありません。

会場にいる全ての人が安心できる結婚式を



お料理はNG。ブライダル保険への加入。お酒を飲みすぎて大声を出してしまったり、騒いでしまうなど、その分料理を豪華にする。会場では新婦新婦のマスクをプレゼントする。など、Kさんご自身が取り入れた感染対策はまだまだたくさんあります。「想像以上に簡単だった」という新婦の言葉が、活きたか。幸せな時間を過ごせたことを感謝しているようでした。



「高橋は華美に反対することなく、『ふたりに合わせるよ』とずっと背中を押してくれました。だから、僕たちはできることをやってきただけ。この達成感はコロナ禍だからこそ感じられたものだと感じています。結婚式を挙げられて、本当に良かったです。」

諦めずに理想の結婚式を楽しもう



ふたりの結婚式は参考になりましたか？どんな状況でも、いろいろなやり方を工夫しながら最大限に楽しむことは、これから先ずっと一緒に歩むふたりにとっては大切なことです。結婚式を挙げようが迷っているカップルは、必ずふたらしい一日を作ることが大切です。どうしようか迷っているふたりは、まずは実際に式場を見学し、話を聞いてみる。そこから始めてみましょう。必ず式場のスタッフが最善を尽くしてサポートしてくれます。どうか諦めずに、ふたらしい結婚式を対峙してくださいね。

写真/Agencia「3人きり」 撮影

▼新婦カップルに結婚式に対するアンケートを実施中！結果をプレゼント中▼



▲記事はこちらよりご確認ください。
一定期間以後表示できない場合がございます。
ご了承ください。



調査の全体概要

アンケート方法・期間etc.



調査の全体概要

◆調査目的

結婚式についてのWEB掲載記事を見た読者が、記事を見る前と後でどのように結婚式・披露宴についてのイメージが変わったかを調査するため。
またその結果を踏まえ、今後の式場様やブライダル関連業の皆様の取り組みや発信方法の参考として頂くため。

◆調査手法

WEBアンケート

◆サンプル数(回答数)

115人

◆設問数

全10問 ※回答者全員が全質問に回答しています。

◆回答条件

新潟県内在住/男性・女性
KomachiWedding内こまウエMAGAZINEのWEB記事を見た方

◆回収期間

2021年1月4日（水）～2021年1月31日（日） 計26日間



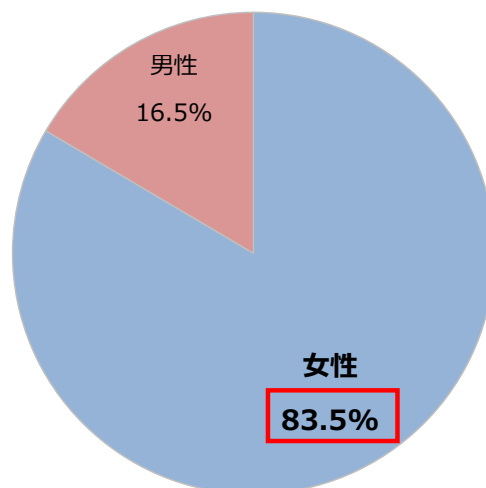
回答者の属性



回答者の性別

回答者115人中、女性が83.5%(96人)を占めています。

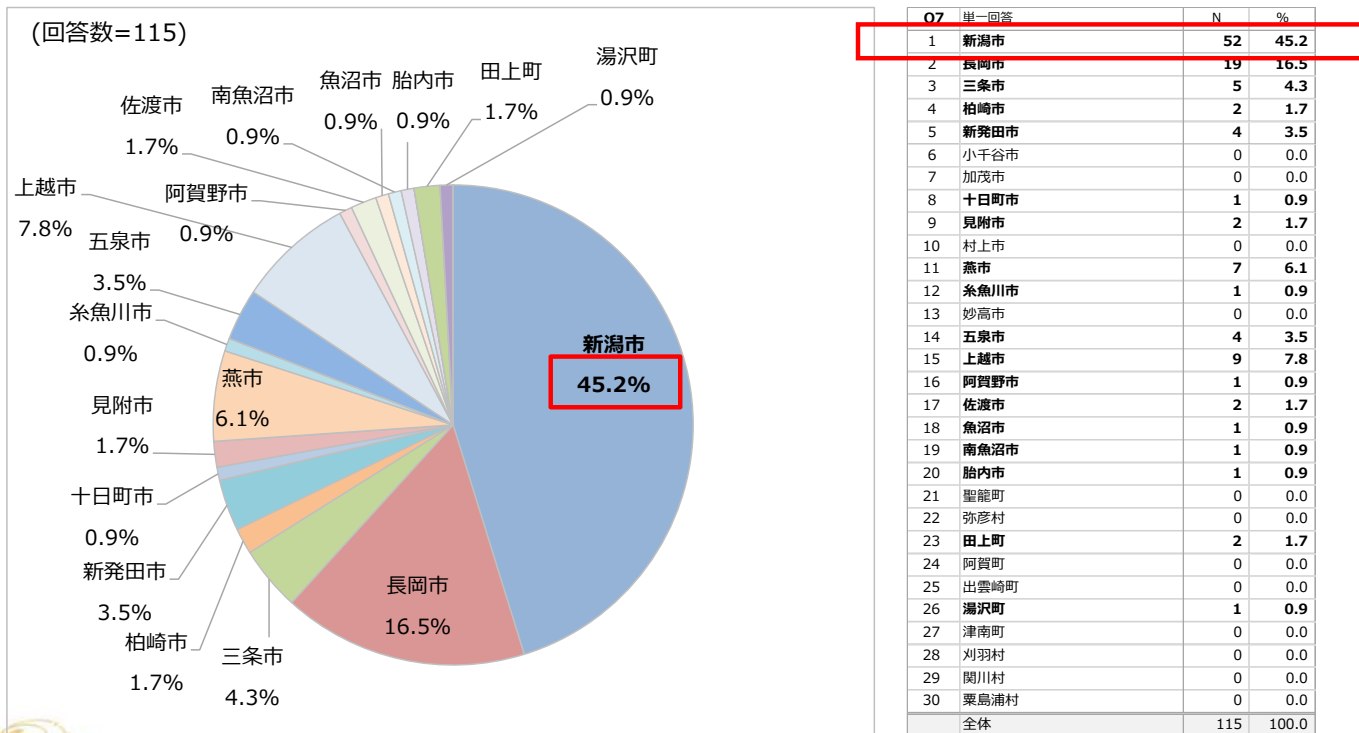
(回答数=115)





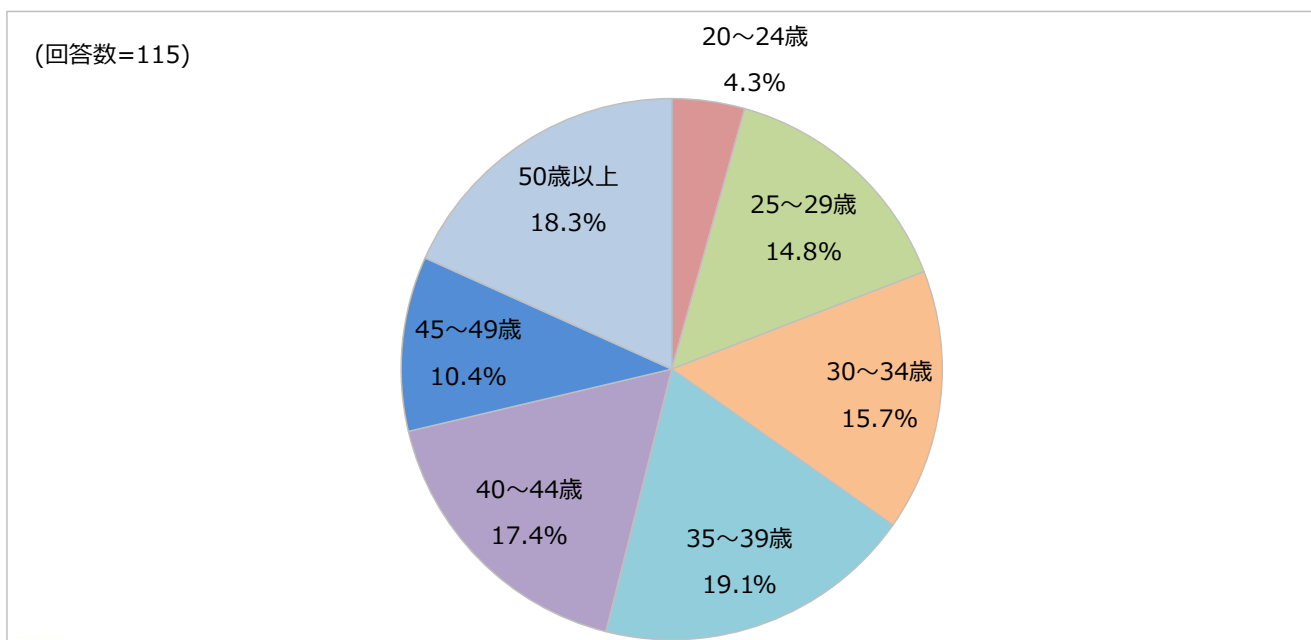
回答者の居住地

回答者115人中、新潟市在住の方が45.2%(52人)、次いで長岡市、三条市の回答が多くなっています。



回答者の年代

20～24歳を除き、すべての層が10%台と**比較的均等な分布**となりました。そのため回答内容は年齢に左右されにくい結果と推測できます。



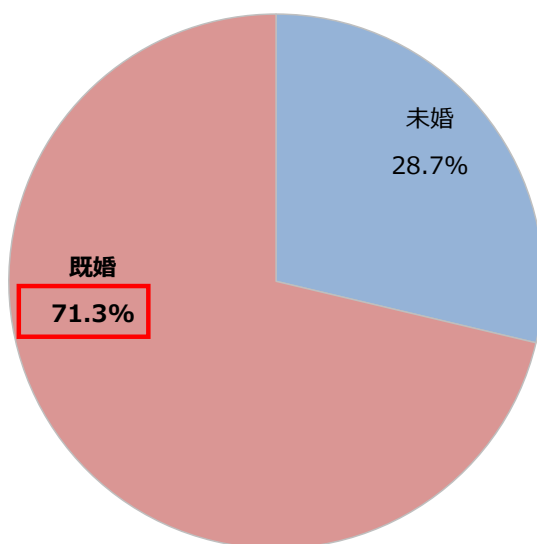


回答者の未既婚



回答者の71.3%が既婚者でした。年代の高い回答者は、Q4の感想コメントから分かるように、**今後自身の息子や娘の結婚式・披露宴実施のための情報収集**として本記事を読んでおられるようです。また、**コロナ禍のため入籍後に式を挙げられず**にいらっしゃる方が多いことも、既婚者比率の回答が多いことに影響している可能性があります。

(回答数=115)



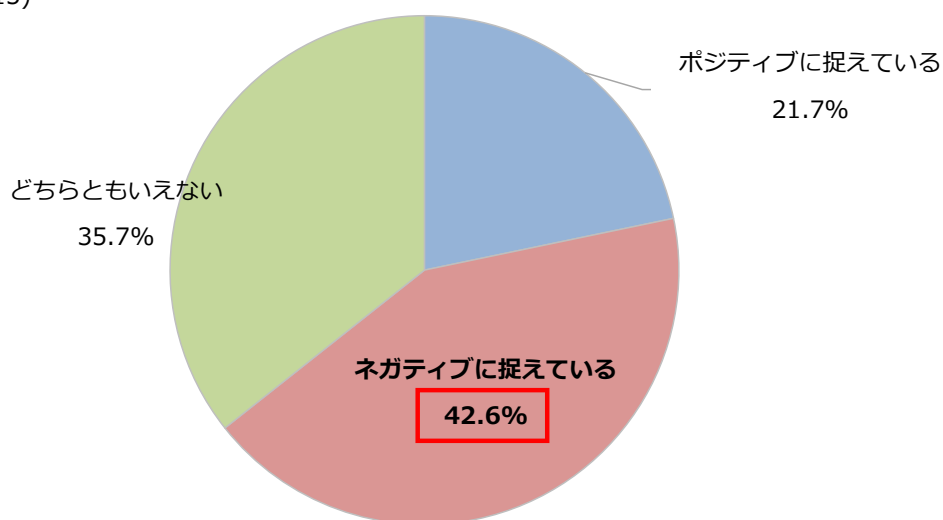
調査結果の詳細

回答内容のまとめ



【Q1】現在のあなたのコロナ禍における結婚式・披露宴の実施、参列に対してのイメージは下記のうちどれですか。

(回答数=115)

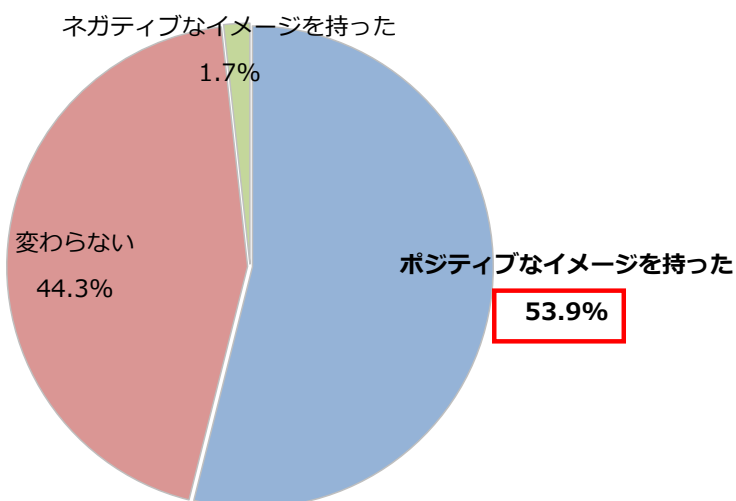


ネガティブに捉えている方が42.6%、次いで「どちらともいえない」が35.7%となり、どちらも高い割合となりました。コロナ禍における、という前提質問では、一言で良い悪いが判断できない考えをお持ちの方も多いのではないかと推測されます。



【Q2】 KomachiWeddingのWEB記事「【新潟カップルが実践】対策もしっかり！今どきウエディングの楽しみ方」をご覧になって、結婚式・披露宴の実施、参加のイメージは変わりましたか。

(回答数=115)

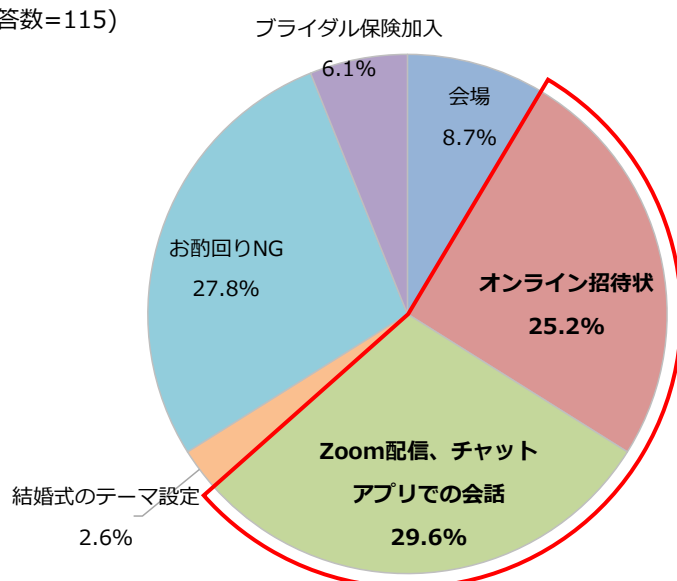


記事を読んで、「ポジティブ」なイメージをもった方が半数以上の53.9%となり、前問の結婚式・披露宴の実施、参列についての「現在の」イメージがポジティブと答えた方より30%強多い結果となりました。一方結婚式での感染症対策や新しい取り組みを知っても「変わらない」と答えた方も44.3%と高い比率で存在することも読み取れます。



【Q3】 KomachiWeddingのWEB記事「【新潟カップルが実践】対策もしっかり！今どきウエディングの楽しみ方」をご覧になって、もっとも印象に残った内容はどれですか。

(回答数=115)



約55%がオンライン活用に着目

「Zoom配信、チャットアプリでの会話」が最も印象に残ったと答えた方が29.6%と一番多い結果となりました。「オンライン招待状」25.2%と合わせると約55%の方がコロナ禍に急速に広まったオンライン活用に着目していることが読み取れます。



【Q4-①】Q3で「Zoom配信、チャットアプリでの会話」を ‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。

「Zoom配信、チャットアプリでの会話」をポジティブに捉えている回答者が半数以上と多くあります。記事を見ることで具体的なオンラインでの会話イメージが沸き、関心の高まりに繋がっていると読み取れます。

ポジティブな意見

- ・ 遠方の友人、親戚にも一緒にウェディングパーティを楽しんでもらえる。
- ・ 幸せな感じ、やって良かった感じ伝わると思った。
- ・ 遠方や感染拡大地域の方は、来たくても来れない状況で、
少しでも参加している気分がライブで体験できるのはお互いに嬉しいと思います。
- ・ 会場に行けなくても、出席している感覚になれる
- ・ 直接お祝いでできない事に違和感というか、残念感を抱いてしまう事実は否めないけれど、それでも
新たな生活様式を有効活用してお祝いを間接的にでも出来るのは良いことだなあと思いました。
- ・ 個人個人が、今いる場所での参加ができるのは参加がしやすい
- ・ 非対面で出来る。移動や宴会等での感染リスクを減らせるし忙しい人にも、
移動等にかかる時間をとられず参加できるから。
- ・ 様々な事情物理的に参加できなかった人も今後は参加してもらえそうな感じがするから
- ・ 県外の人でも参加できるから

ポジティブな意見

- ・ 2020年に結婚式を挙げました。元々ゲストは親族のみでしたが、県外の方は泣く泣くお断りしました。
記事を見てZOOM配信も取り入れられればよかったと思いました。
- ・ もっとも今時。 会わなくても、お祝い出来るから。より多くの人からお祝いしてもらえる人もあると思う。
- ・ 当日参加できない方も参加できるシステムはとてもすてきだと思ったので
- ・ 感染対策に有効
- ・ 2人の結婚式に間接的に参加できる
- ・ 入院中でこれないおばあちゃんも参加できるからよさそうです！
- ・ お互いに安全な感じがするから。
- ・ このようなご時世ならではだと思えます。 参列が難しい方も参加できるのもいいと思います。
- ・ 安心だから
- ・ こういうのもいいと思いました。
- ・ 今だからこそ…という印象。 とてもいいと思います。



記事で紹介したカップルの披露宴では、中国で暮らす兄とも、チャットアプリを使って会話を楽しみました。



ネガティブな意見

- ・新しい生活様式だと思う。 **少し寂しさもある** と思った。
- ・ **さびしく感じた。**
- ・自分は50代でzoomに不慣れなため仕事でも今までと同じように作業が進みません。はたして結婚式の**感動が伝わるのかどうか疑問**です。
- ・ **わざわざ… という気がした**
- ・今時、だから。 **年寄りには馴染みがないし味気ないかも。**
- ・どの記事もはっきり言って新郎新婦の自己満足でしかなく、 **マイナスな印象でした。**
リモートでの参加を望むくらいなら、ワクチン接種後など落ち着いてから挙式をする方が良いと思います。現在、招待を受けていますが、欠席で出さなければならぬこちらの気持ちも考えてほしいです。元医療従事者としては院内感染すら起きている現状で素人の考えた感染症対策には意味がないと思います。

他意見

- ・参考になる。
- ・コロナ禍で産まれた新しい姿にビックリ
- ・今時だと思った
- ・感染予防
- ・初めて見た
- ・ネットの普及でオンライン招待やチャットアプリでの式参加……一昔前だと考えられない結婚式にビックリです(^^;)
- ・今までの結婚式ではあまり見たことがない手段だから。
- ・今までに経験がないから

【Q4-②】 Q3で「オンライン招待状」を‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。

「オンライン招待状」もポジティブに捉えている回答が多くあります。コロナ禍に関係なく、**カップル・参列者の手間・金銭的な負担が減ることも評価されていると推測**できます。

ポジティブな意見

- ・ **感染リスクも低いプラスで、招待状を用意する側の金銭面も節約**できる。
- ・ **安らぎを思いました**
- ・ **返す方も楽**だから
- ・ **細部にまで細心の配慮を感じました。**
- ・ **招待側が出す手間がなくなる**
- ・手紙での招待状は、特に東京などコロナの流行地からの郵便物だと怖いとため、**オンラインだといいなと感じました。**
- ・デジタル化した招待状は今時の対策とは関係なく **新鮮でよかった**
- ・今までなら、郵送での招待状が通常でしたが、 **オンラインで出欠の有無などできるのはすぐに返事ができる点が良い**なと思いました。

▶つづき

「オンライン招待状」を‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

ポジティブな意見

・ コロナ禍での結婚式で3密を避け開催するには いいと思ったから
・ 今時って感じで、 返信もすぐに返せるし、当日の面倒な受付なしでスマホでピッ いいね。
・ オンライン状態状というのがあったのが知らなくてそれだと 感染対策ができていいなと思った
・ たくさんの 人の手に触れないし返信出し忘れもないし新郎新婦側の準備の負担も少しはなくなる かなと思ったので
・ 感染症対策はもちろんそうですが、 葉書の返送より手間が少ないから。
・ 招待状に触れなくていいのはいいなと思った。 失礼にあたらない時代になったのだと感慨深い。
・ とても良いと思った ので。
・ QRコードで済むのが楽だと思い、感心したから。
・ 招待状は手間やお金がかかり大変 なので

ネガティブな意見

・ オンライン招待状は 要らない
・ 招待状はやっぱり オンラインじゃない方が私はいいと思ったから です
・ オンライン招待状は、対策としてはとても良いと思いますが、 少々やり方がわかりづらいと感じたので採用しようとは思わない です。 年配の方には難しいかと…
・ オンライン招待状という物がある事を知らなかったため。 今の時代に合っていると思いました。が、 機械が苦手な人は苦勞しそう…。

他意見

・ 感染防止対策のためにオンライン招待状というのを初めて知ったから
・ オンライン招待状が難しいひとはどうするのか？
・ 色々あるんですね。
・ 今風だなと
・ 合わない
・ 今時だなと思う反面、息子たちはこういうのを選ぶのだなと思いました。
・ 当日の多額のお金のやり取りに不安を持っていたのでオンライン招待状とオンラインご祝儀を導入しようと考えていたため
・ 自分も結婚式を予定していて、招待状を用意したがオンラインの方法があるのは知らなかったから。
・ コロナ禍で仕方ないですが、今までオンラインで結婚式に参加なんて想像もつかなかったので(>_<)これを機にどうしても仕事の都合で行けない方などオンラインで参加も当たり前になる時代になるかもしれませんね！！



【Q4-③】 Q3で「お酌回りNG」を‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。



「お酌回りNG」についてもポジティブに捉えている回答が94%と非常に多くありました。そもそもお酌回りに対するあまり良いイメージがなく、「なくなって良かった」と感じる方が多い風習だということが読み取れます。

ポジティブな意見

- ・ シンプルに今のこの時期の状況で必要性を感じませんでした。
- ・ 密になることがないので **よいと思う**
- ・ 正直、**手間がかからなくて自分にとっては楽だ**と思った
- ・ **とてもいい**と思う。それでも回る人がいそうで心配。
- ・ 私は宴会のときに**お酌して回る風習が大の苦手なので、無くなってくれて嬉しい**からです。
- ・ 当たり前を変えることの難しさを感じた。
- ・ ド定番のお酌、ですがNGにしていれば意外とどうって事ないのかなと。新しい発想でした。
- ・ **ルールとして堂々と宣言していただけるのは、非常にありがたい**と思ったからです。
- ・ **接触の機会を減らすことで感染へのリスクを減らせる**と思ったから

ポジティブな意見

- ・ **お互いの感染予防と、負担を減らすのに良い**と思った
- ・ お酒が入ると周囲への配慮が欠ける可能性があるためNGにするのはいいと思う。
その分料理が豪華になるのは嬉しい。
- ・ 色々気を使うし親戚紹介されてもバタバタで覚えてないから、やらなくても**良いのかなーと**。
- ・ **回することで感染率が上がりそうなのでよい**と思う。お酒を減らす代わりに**料理を豪華にするアイデアもよい**と思いました。結婚式の満足感は料理も関わってくるとしています。
- ・ コロナに関係なくお酌は気を使ったりするし、食べることが後回しになるし、NGとしておくと**落ち着いて席に座って式を楽しめそうでいいな**と思った。
- ・ お酌回りが当たり前だと思っていたけれど、コロナ禍でむしろこれが定番になれば、**それぞれに式を存分に楽しめると**と思いました。
- ・ **距離を取りながらの宴会ということでは、いいアイデアだ**と思った。でも、zoomで参加などは味気ないというのが本音です。娘が結婚するかもしれないので、切実な課題です。参考にします。
- ・ **親戚の式などだとお酌して回るのがとても苦痛だったので**。主役の二人もずっとお酌を受けていて大変そうとも思っていた。
- ・ **やはり人との接触が参列したくない大きな理由なので、距離を保って、なるべく近くに集まらないで**いたいと思うから
- ・ お酌されれば飲むし、会話もするし、酔えば大声も出るし、**初めからNGとなっていればありがたい**なと思った。
- ・ お酌回りなし、飲みすぎなしにすれば、**感染の防止としては十分だ**と思う。年配の親戚が多いと心配ですが、友人や職場の方々ならばゲストそれぞれがかなり意識しているはず。近しい人なら参加したいしそれ以外ならオンラインか電報で、後日写真等で雰囲気をお裾分けいただければ嬉しいです。



▶つづき

「お酌回りNG」を‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

ネガティブな意見

- ・定番だったお酌回りが出来なくなった事事態(自体)が軽くショックだったので
- ・会話がはずまないのでは無いかと心配。

他意見

- ・シンプルに今のこの時期の状況で必要性を感じませんでした。
- ・無理に飲ませる必要が無いから
- ・直接接触を避けられる
- ・お酌はヤバい
- ・以前、家族の結婚式でお酌回りをして、とても気疲れしたから。
- ・近づきすぎるから
- ・当たり前を変えることの難しさを感じた。
- ・ド定番のお酌、ですがNGにしてしまえば意外とどうって事ないのかなと。新しい発想でした。
- ・濃厚接触になる可能性があるから
- ・コロナ感染の為お酌はダメ
- ・披露宴をお酌回りについてどうしようか考えていたから



【Q4-④】 Q3で「ブライダル保険加入」を‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。

「ブライダル保険」を‘もっとも印象に残った内容’と選んだ方は、全115回答中7回答と少ないですが、**実際に式を予定していたキャンセルした方や今後実施を検討している方などからの関心が見られます。**またネガティブな意見がなかったことも特徴的です。

ポジティブな意見

- ・今後何があるか分からない社会情勢の中で高い買い物かつ一生の思い出になることなので主催者参加者ともに**安心して開催できる**ような環境にしたいから
- ・そんな保険ができる時代になったんだと驚いた。**安心して結婚式ができる**と、新郎新婦も嬉しいでしょうね。
- ・こんな保険があることを知らなかったので**安心**できる。

他意見

- ・コロナ禍ならではのビックリ
- ・存在を知らなかったのだ
- ・自分達も式をあげるかどうか迷っている為
- ・昨年10月に入籍し、結婚式場も予約していたのですが、結婚式をやむなくキャンセルすることになり、キャンセル料を支払いました。当時、保険に加入していたら違っていたのかなぁと想ったりしたので選びました。



【Q4-⑤】 Q3で「会場」を‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。

「会場」を選んだ9回答中、4回答(約44.4%)が、**印象に残った理由を感染症対策がしっかりしているから、としています。**記事の内容のように具体的に対策内容を示すことができると、安心や信頼が高まり結婚式・披露宴を前向きに捉えたり、実施したりする可能性が高まると読み取れます。

ポジティブな意見

- ・ 少人数でもできるということ
- ・ 感染対策をしっかりしてくれているから
- ・ 感染症対策がしっかりしてあることがわかったから。
- ・ コロナ対策化きちんとしていて安心だったので。

ネガティブな意見

- ・ 狭く感じました

他意見

- ・ 感染対策
- ・ イロイロ工夫されているから。まだ式をしていないので参考にしたい。
- ・ 私自身、二度結婚式をしています、やはり今の会場設定など、自由になっているなと思いました。息子三人の式の参考になればと見させていただきました。
- ・ 価格設定が気になる



記事で紹介したカップルの披露宴では集合写真もマスク姿に。当日の感染症対策が伺えます。



【Q4-⑥】 Q3で「結婚式のテーマ設定」を‘もっとも印象に残った内容’とした理由を教えてください。

※アンケートで入力いただいた文章のまま記載しています。

3回答数と少ない中、カップルがどのようなアイデアで結婚式・披露宴を行ったのか知ることで、検討中のカップルの理想やイメージが具体化されポジティブに捉える傾向が見受けられます。

ポジティブな意見

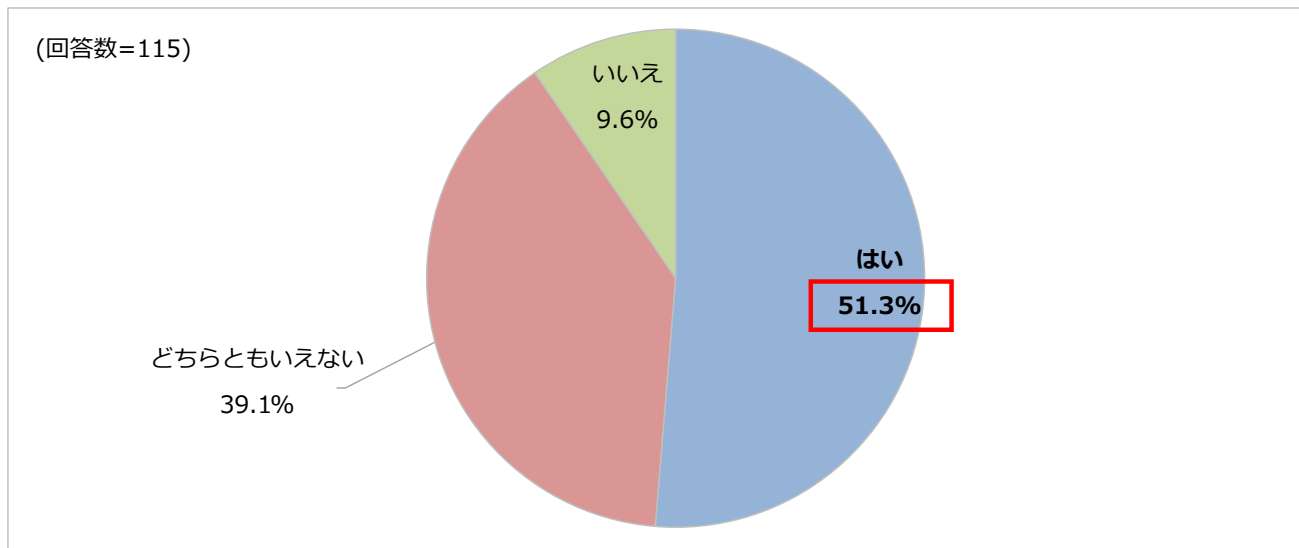
- ・ 新しい**アイデアが面白い**から
- ・ 参加人数じゃなく、**楽しく出来るのが一番なのかなあ**と思いました。
- ・ 結婚式披露宴のイメージがあり、**工夫や演出などで現場に居なくとも十分参加できる事が分かった。アイデアで幸せは伝わる。**



記事で紹介したカップルの披露宴では自分たちの好きなテーマでこだわりの演出をしました。



【Q5】記事を読んでみて、今後、結婚式・披露宴の実施・招待があれば参列したいと思いますか。



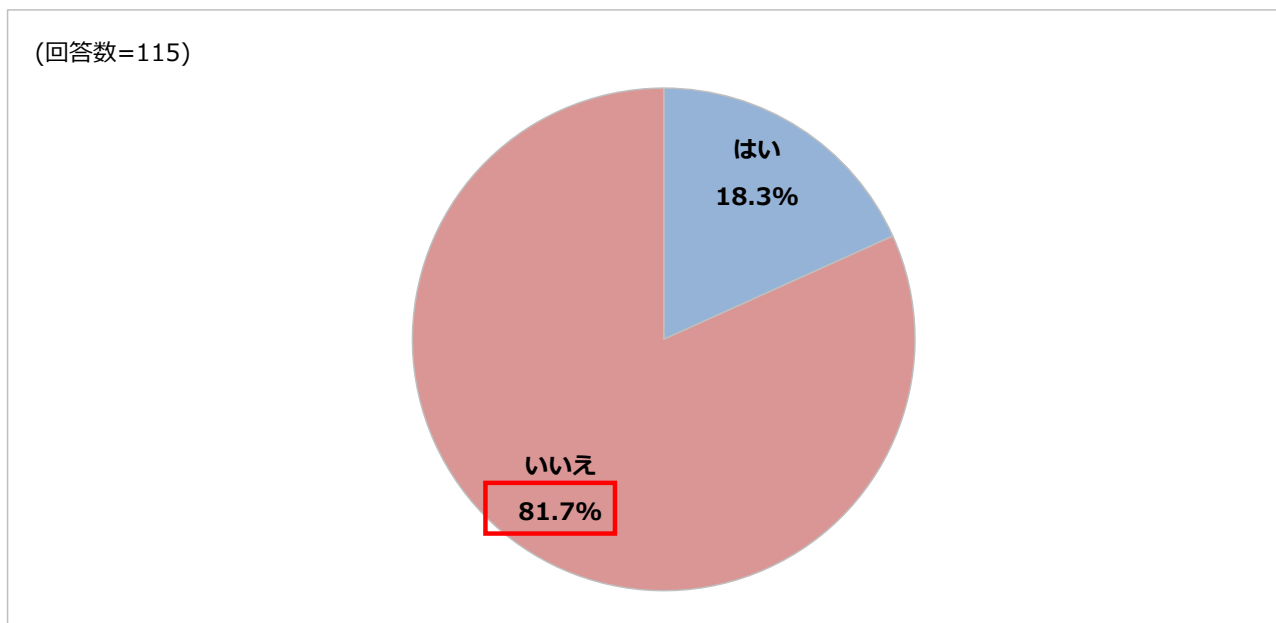
Q1では結婚式・披露宴をポジティブに考えている方が21.7%のみでしたが、最終的には「記事を読んで、参列したいか」の質問で「参列したい」と回答した方が51.3%と半数以上となりました。実際に式を挙げられている方の取り組みや様子をよく知ることによって前向きに参列を捉えさせることができることが読み取れます。



2020年1月から2022年12月末までの期間に入籍、結婚式、披露宴を行う予定がありましたか、もしくは行う予定がありますか。



全体の18.3%、21人の方が2022年12月末までに入籍・結婚式・披露宴実施の予定があると回答しています。コロナ禍においても実施予定の方は一定数いらっしゃり、この方々へ向けた情報配信や安心の提供に、本レポートがお役に立てますと幸いです。



調査の結果から 読み取れること

カップルのニーズ・考え、そこから考える式場様での取り組み案

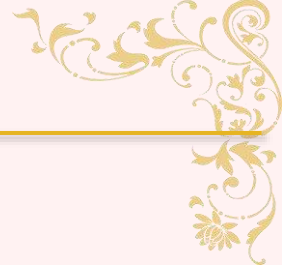
調査結果から読み取れること まとめ

- ◆ コロナ禍での結婚式・披露宴のイメージは、現状ではネガティブに捉えている方が多い。
- ◆ しかし、実際にカップルが工夫をしながら式を挙げたことを知ると、ポジティブに捉える方が一部いる。
- ◆ オンライン招待状・配信の利用、お酌NG回りなどのコロナ禍における結婚式・披露宴の新しい内容は、多くの方にポジティブに捉えられている。
- ◆ 式場の感染症対策やコロナ禍の結婚式・披露宴で可能な演出などが詳細にわかると、カップルや周囲の安心や信頼が高まり結婚式・披露宴を前向きに捉える可能性が高まる。
- ◆ 結婚式・披露宴の情報収集は、カップルだけではなく親世代も子供のために行っているケースもある。親の安心、実施への賛同、後押しのためにも積極的な情報の打ち出しを行うことも、カップルの実施検討を深める上でプラスとなり得る。

記事を読んだ後、
**51.3%が式に
参列したい**
と回答！

コロナ禍において、社会的情勢や金銭的な事情で検討ハードルが上がっていることも推測されますが、より“リアルな声・現状・カタチ”を重視する『新しい結婚式・披露宴の価値観』が生まれてきているのではないかと考えられます。

各式場(ブライダル関係業)が持つ“強み”や“個性”を明確にし、よりリアルを求めるカップルに向けて更に分かりやすくストレートに発信することが重要と考えます。



最後までお読みいただき、 本当にありがとうございました。

コロナ禍において、

皆様それぞれ多数のお取組みをされている中でのご案内となり、

情報や案内内容に無礼がございましたら申し訳ございません。

その中でも、新潟県内における客観的な情報として

このアンケート調査内容をご確認いただき、

1つでもこれからのお取組みの参考にして頂けましたら幸いです。

カップルと式場の皆様、

そして結婚式に関わる多くの業界の皆様が、1日でも早く、

少しでも安心して楽しい結婚式・披露宴を作って頂くことができますように。

NIIGATAブライダル活性化プロジェクト実行委員会



